

お知らせ: 次回発信日は4月16日週報(予定)

Jミルクが2026年1月30日に公表した「需給見通し(※2025年11月迄実績)」の予測値と直近の実績値(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【2月の統計実績】

● 生乳生産量

全国が、前年同月比▲1.0%(日均量、以下同)となり、2カ月連続で前年割れに転じた。地域別では、北海道が▲0.8%と全国同様に2カ月連続で前年水準を下回り、都府県も▲1.3%と6カ月連続で前年水準を下回り前月から減少幅が拡大した。指定団体受託乳量(速報)は、北海道(ホクレン)が3月上旬、7旬ぶりに前年水準を上回ったものの3月下旬は再び前年割れに転じた。都府県では、10月上旬から3月中旬まで17旬連続で前年水準を下回っている。

● 牛乳等生産量

牛乳の生産量は、前年同月比▲2.9%と7カ月連続で前年水準を下回った。学乳および業務用を除く(=家庭用)牛乳は1月が±0%と6カ月ぶりに前年割れを回避していたが、2月は▲1.7%と再び前年水準を下回った。牛乳以外の品目は、成分調整牛乳が69カ月連続、加工乳が7カ月連続、乳飲料も7カ月連続で前年水準を下回っており、牛乳類全体としては7カ月連続で前年割れとなった。発酵乳については2カ月ぶりに前年水準を上回った。以上の結果、生乳の飲用等向処理量は、前年同月比▲2.3%と7カ月連続で前年水準を下回った。生乳供給量も前年水準を下回ったが、飲用等向の減少の影響が大きく、乳製品向けは+0.4%と2カ月ぶりに前年水準を上回った。

● 乳製品需給

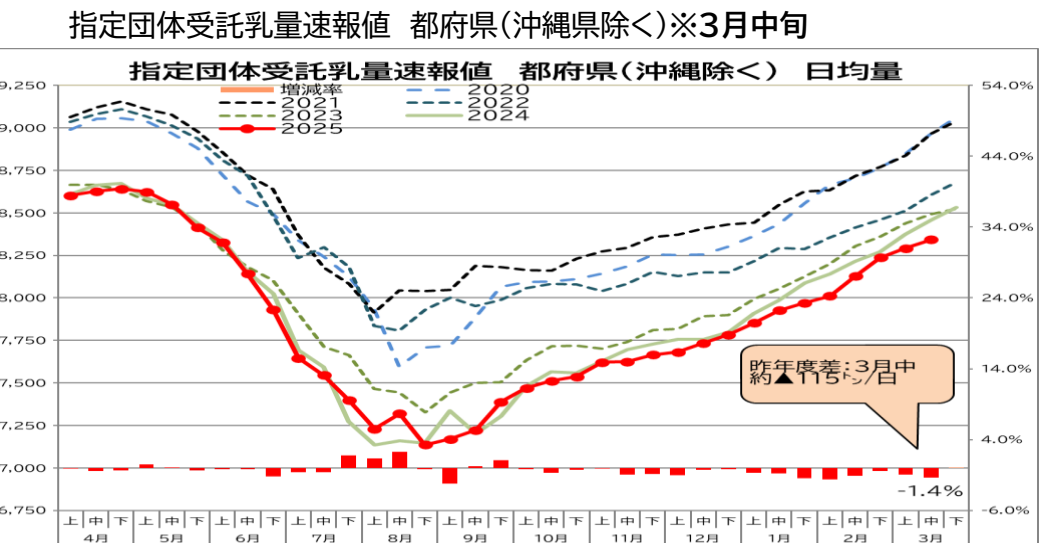
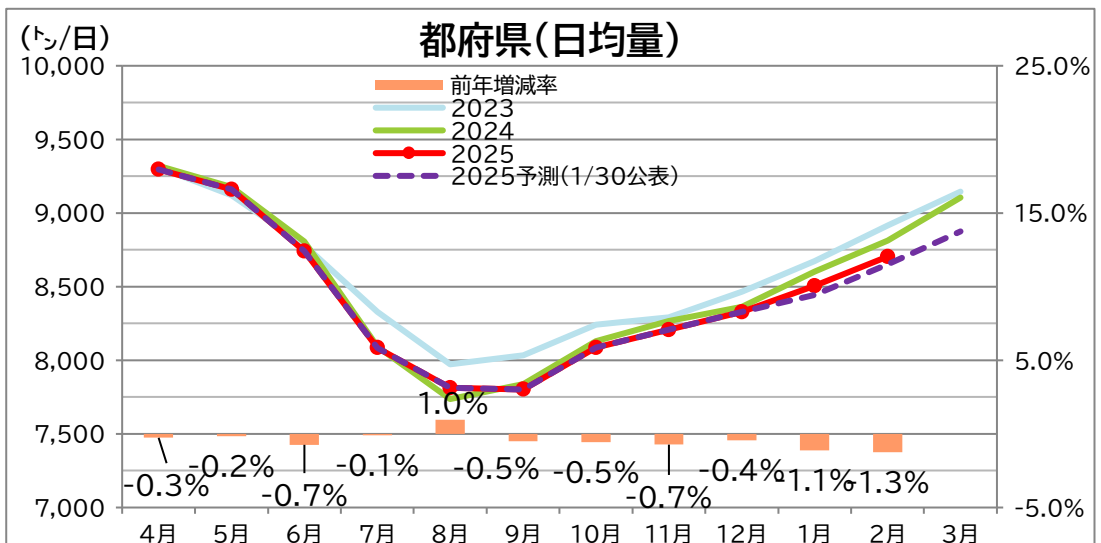
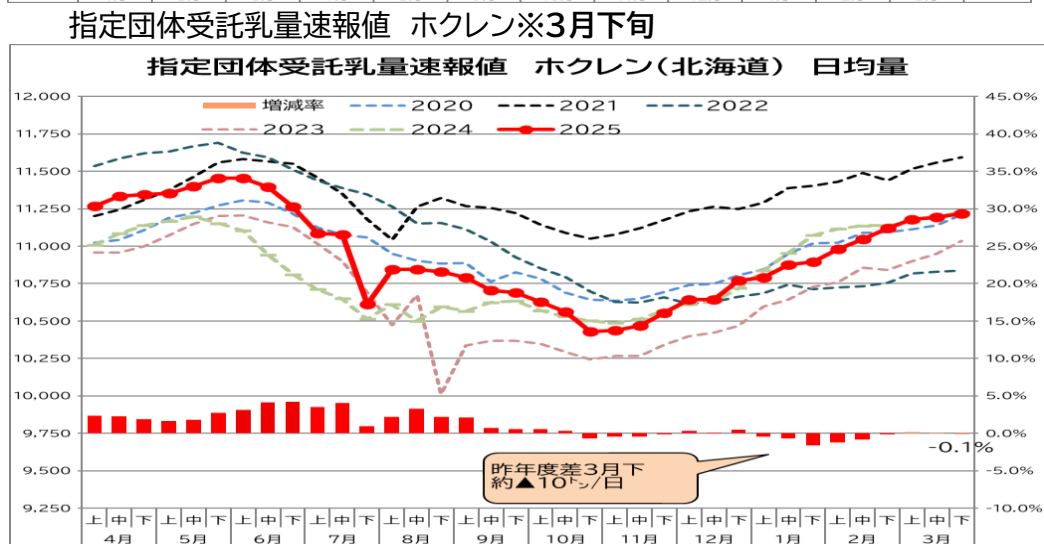
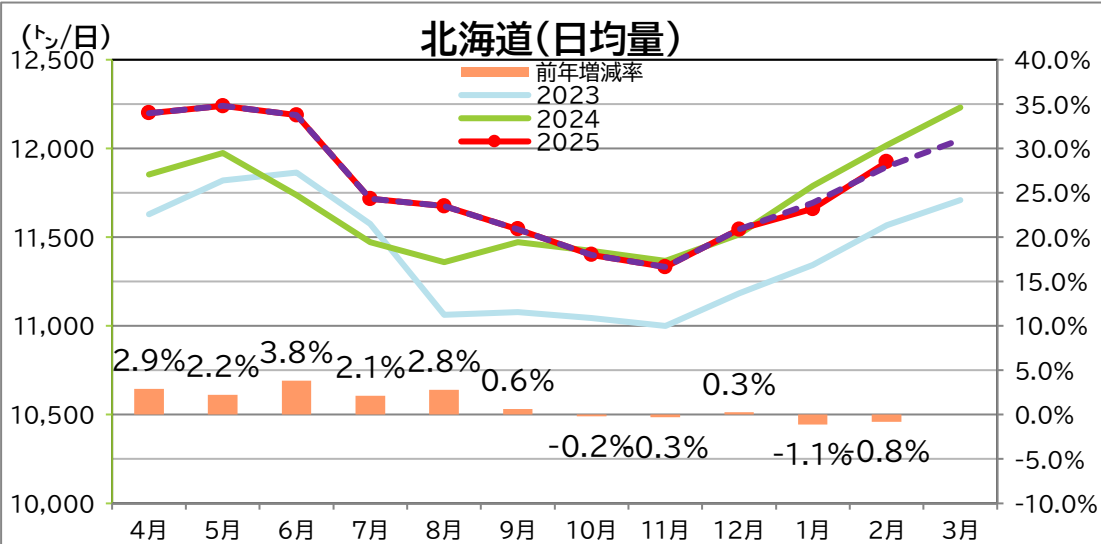
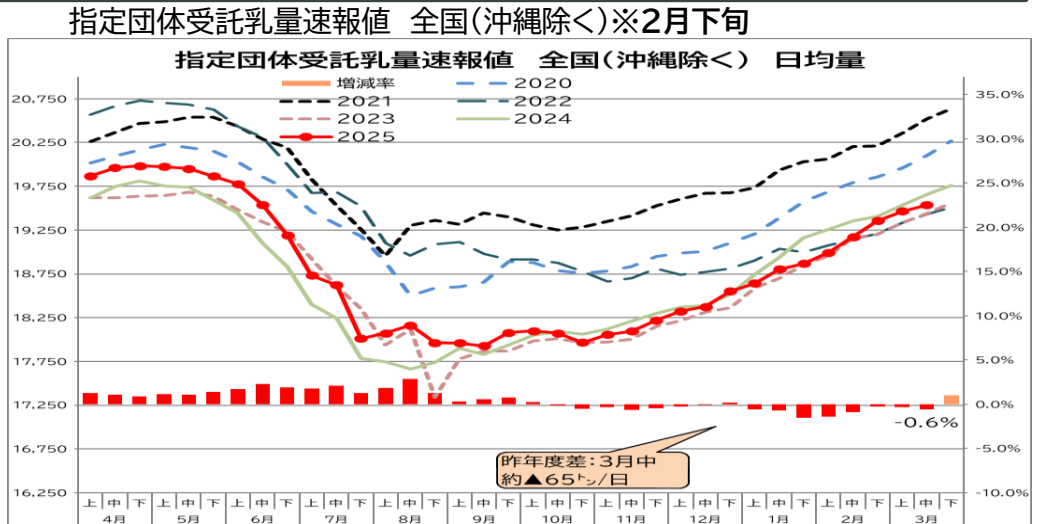
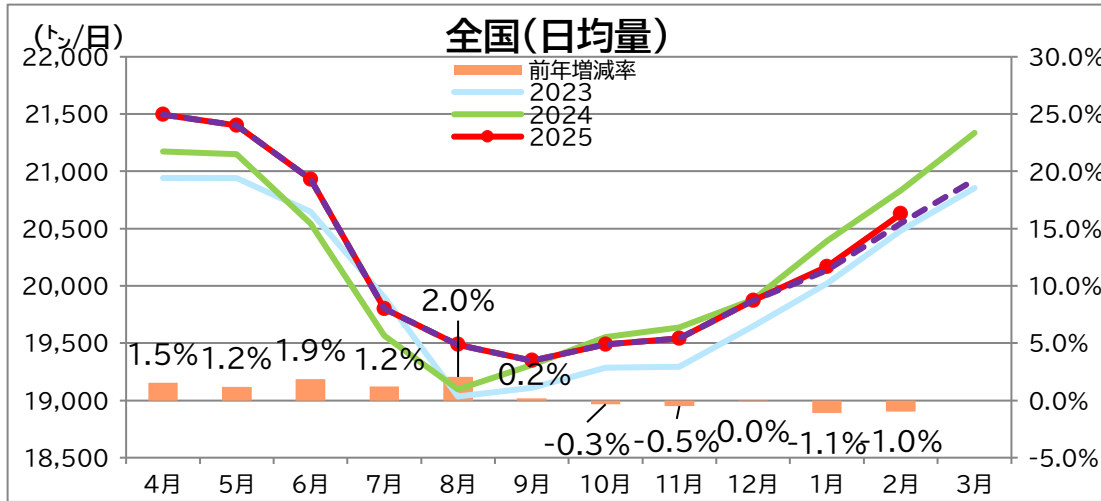
脱脂粉乳は、生産量が13.2千ト、推定出回り量は12.3千トと需要量が供給量を下回った結果、在庫量は前月から約1.0千ト増加し、月末在庫量は76.0千ト(前年同月比+41.2%)と15カ月連続で前年水準を上回った。在庫量が60千トを超えるのは9カ月連続、70千トを超えるのは3カ月連続となるが、増加幅は1月に比べて縮小した。バターの生産量は6.6千ト、推定出回り量が6.8千ト、輸入売渡数量が1.1千トとなり、需要量が供給量を下回った結果、在庫量は約1.0千ト増加して32.7千トとなった。在庫量は18カ月連続で前年水準を上回っている。

【3月および3/30週の販売動向データ】

- 3月の牛乳類トータルの販売個数は、21カ月連続で前年水準を下回った。内訳を見ると、牛乳の販売個数は2カ月連続で前年水準を下回り、その他の品目いずれも前年水準を下回った。直近週(3/30週)では、牛乳類トータルの販売個数が25週連続で前年割れとなった一方、牛乳の販売個数は2週ぶりに前年水準を上回った。地域別に牛乳類の販売個数を見ると、東北が4週連続、近畿が2週ぶり、九州が3週ぶりに前年水準を上回った。
- 発酵乳の3/30週の合計販売数量は、個数ベース・容量ベースともに3週ぶりに前年水準を上回った。内訳を見ると、ドリンクタイプが2週ぶり、大容量タイプが16週連続で前年水準を上回り、個食タイプは3週連続で前年割れとなった。
- 家庭用バターの3/30週の販売個数は、5週ぶりに前年水準を下回った。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 2月の生乳生産量は、全国577.6千ト(前年同月比99.0%)、北海道333.9千ト(同99.2%)、都府県243.7千ト(同98.7%)。
- (2) 1月30日に公表したJミルク予測値(全国575.3千ト、北海道333.1千ト、都府県242.2千ト)との比較は北海道・都府県ともに上振れした。
- (3) 直近の指定団体受託乳量速報値は全国が3月中旬(最新、以下同)で同99.4%、都府県(沖縄除く)が同98.6%、北海道は同99.9%となった。

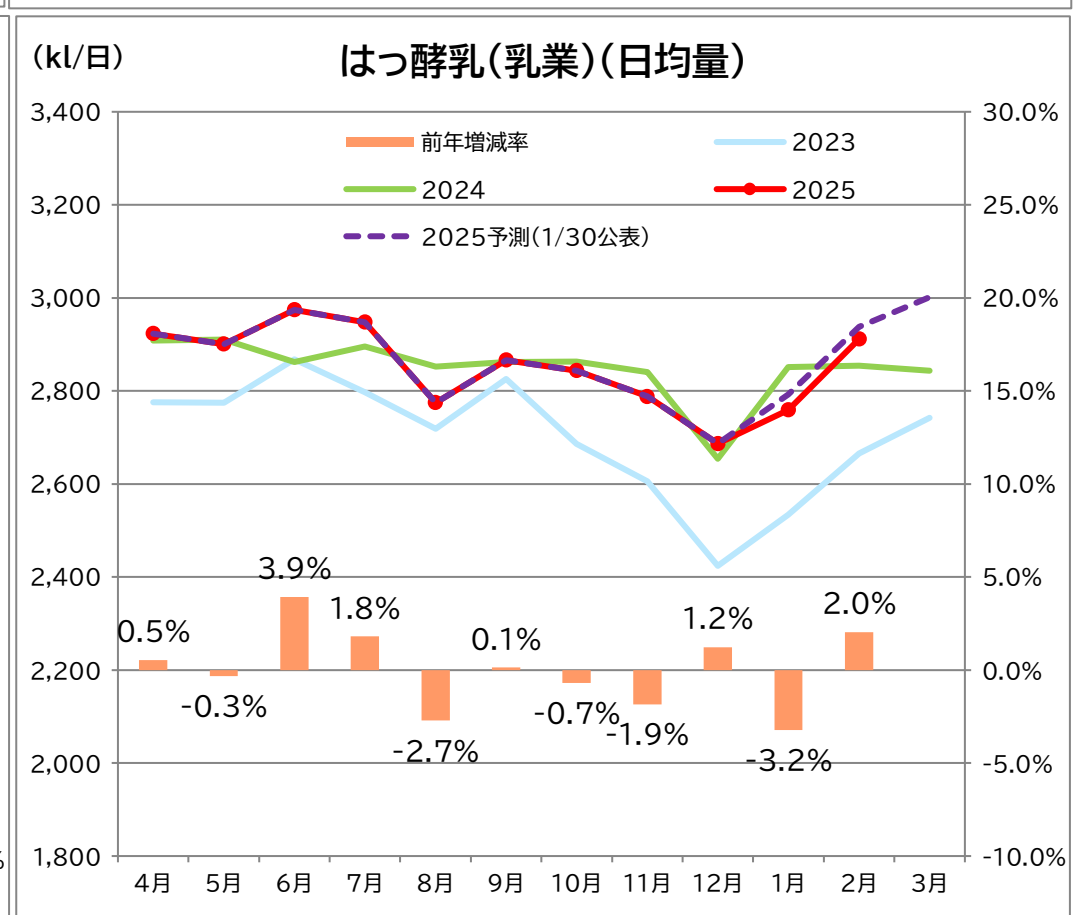
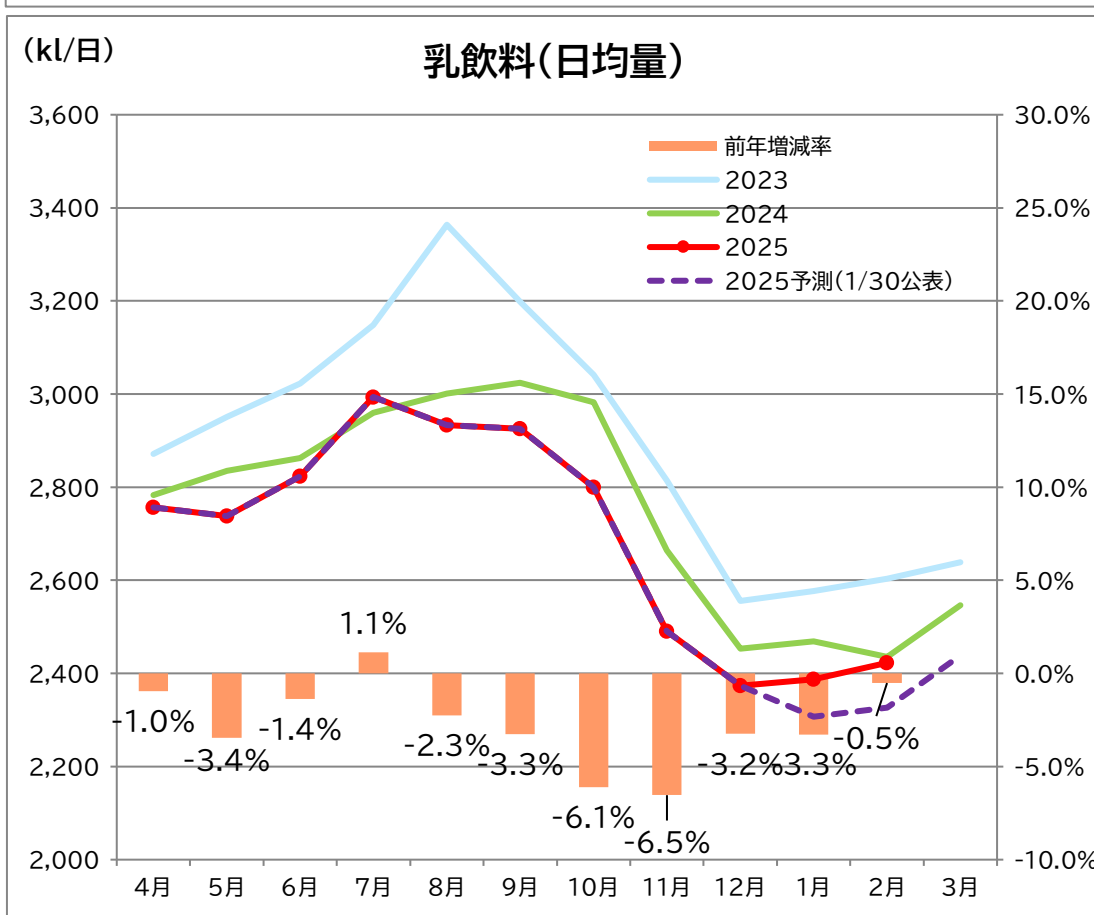
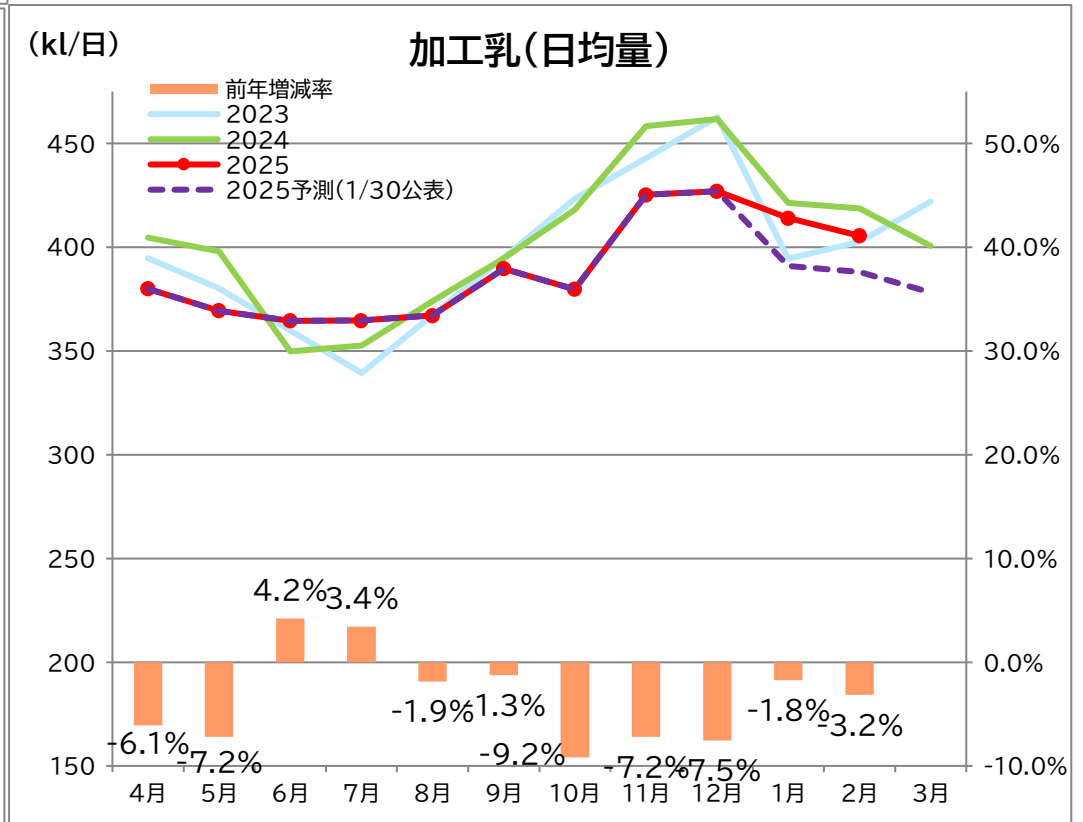
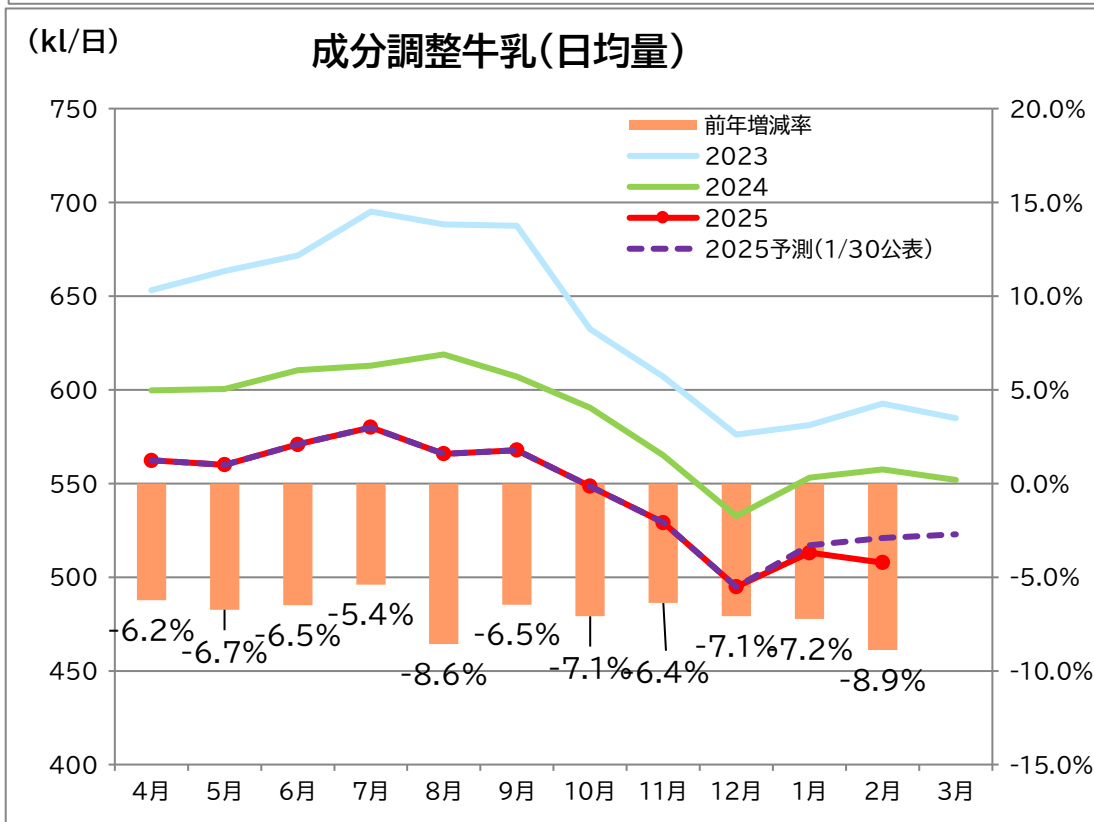
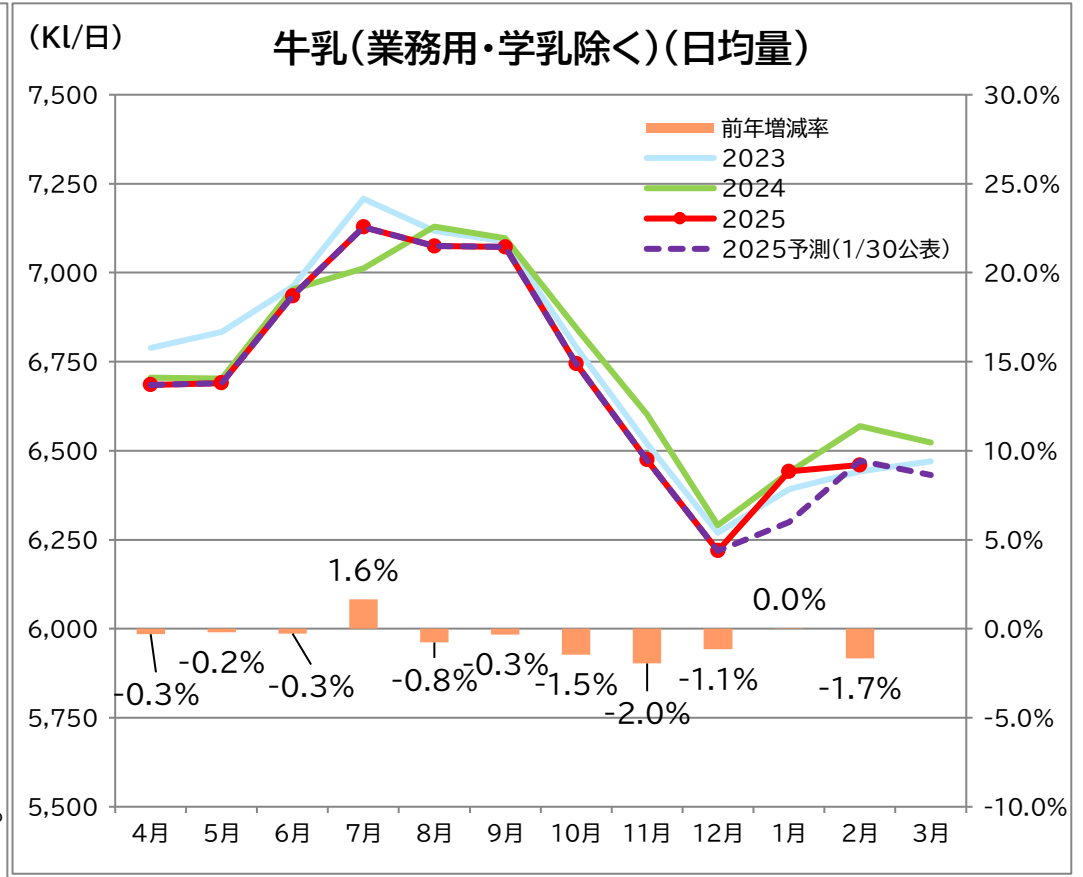
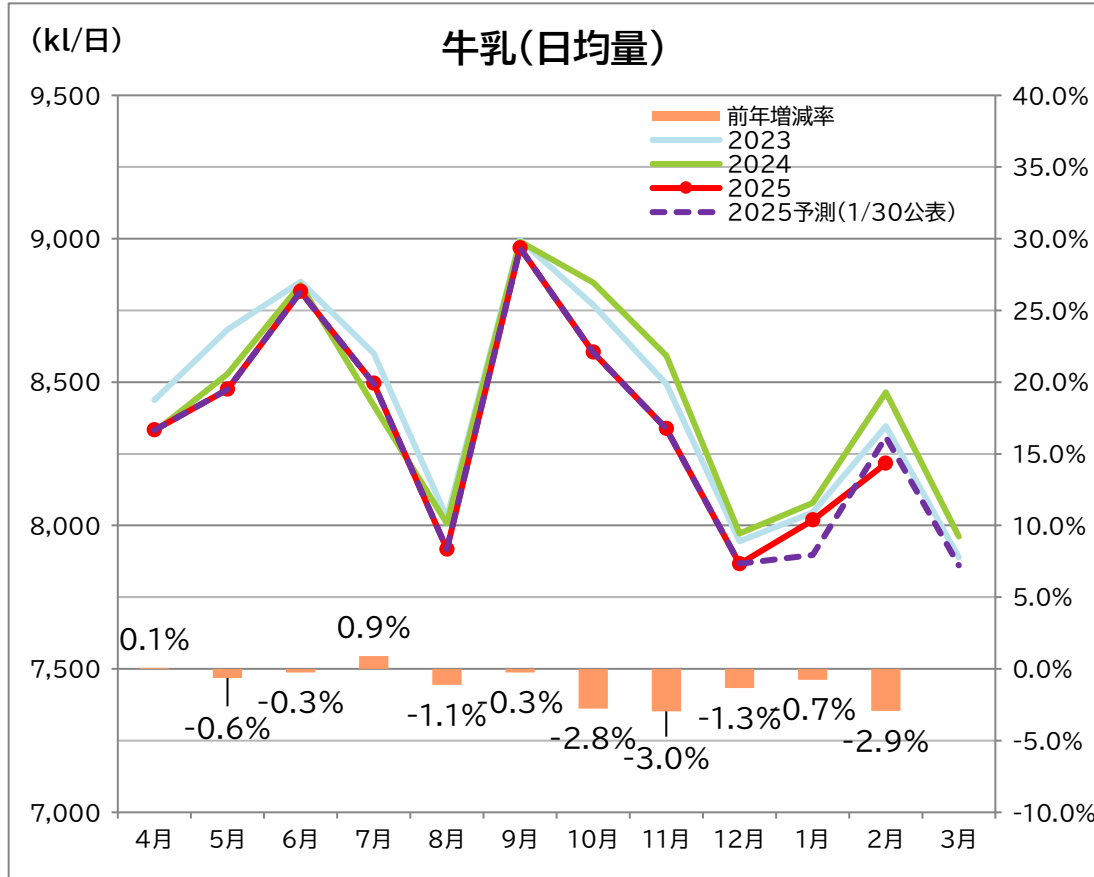


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の牛乳等生産量は、牛乳230.1千kl(前年同月比97.1%)、成分調整牛乳14.2千kl(同91.1%)、加工乳11.4千kl(同96.8%)、乳飲料67.8千kl(同99.5%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、323.5千kl(同97.3%)となり、7カ月連続で前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同98.3%、「業務用」は同86.5%、「学乳」は96.8%。

(3)はっ酵乳(乳業)は81.5千kl(同102.0%)、はっ酵乳(非乳業:1月実績)は96.7%となった。

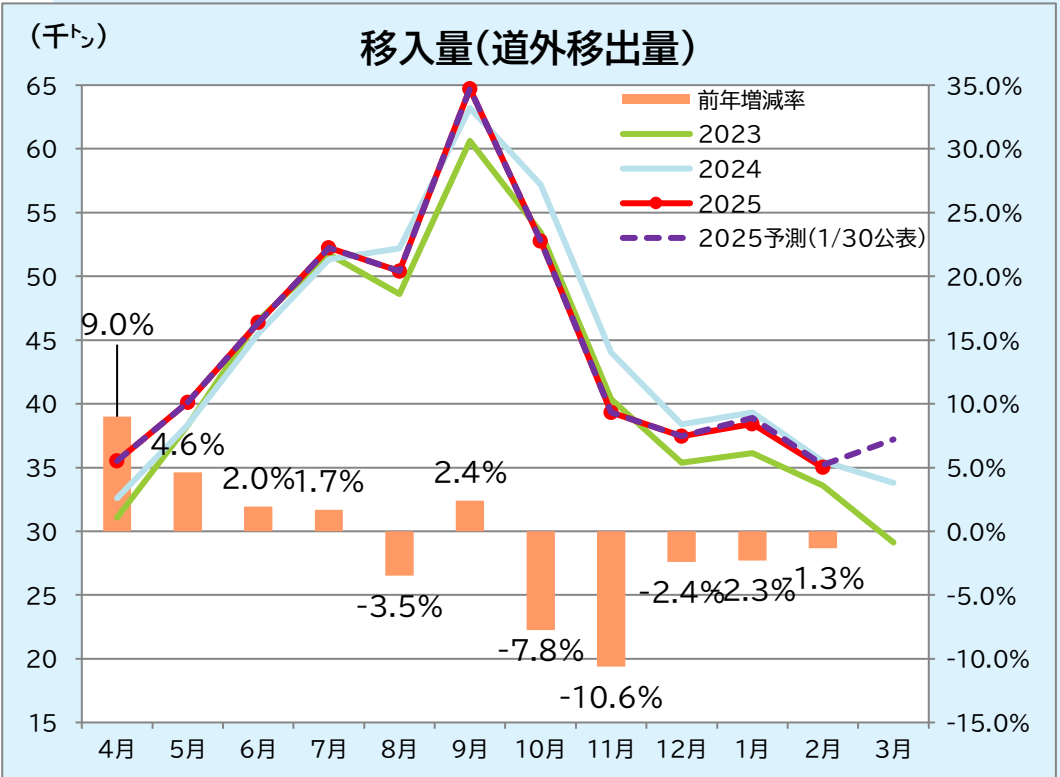
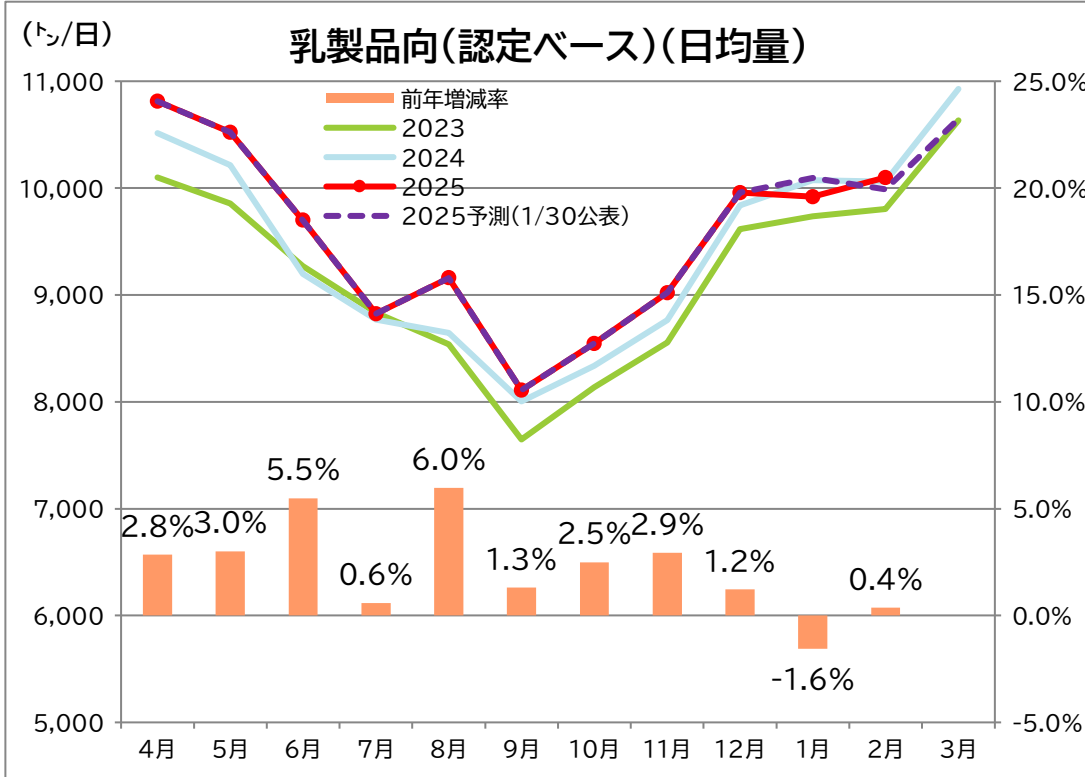
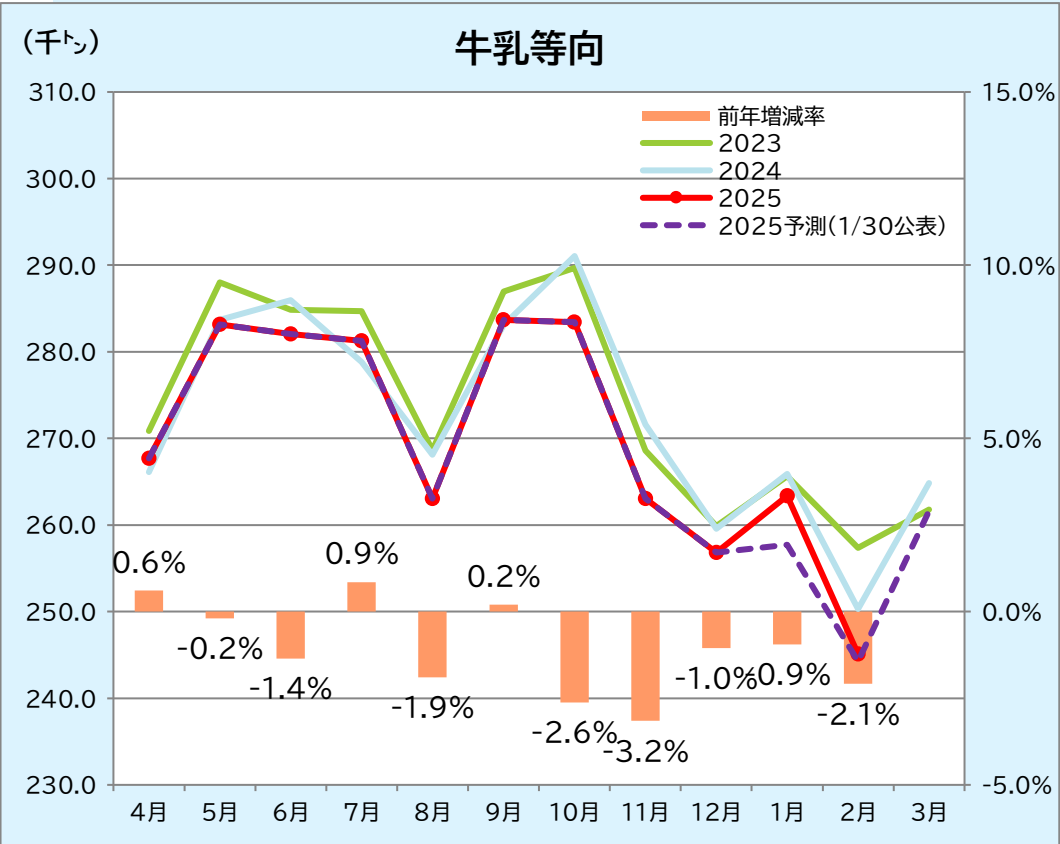
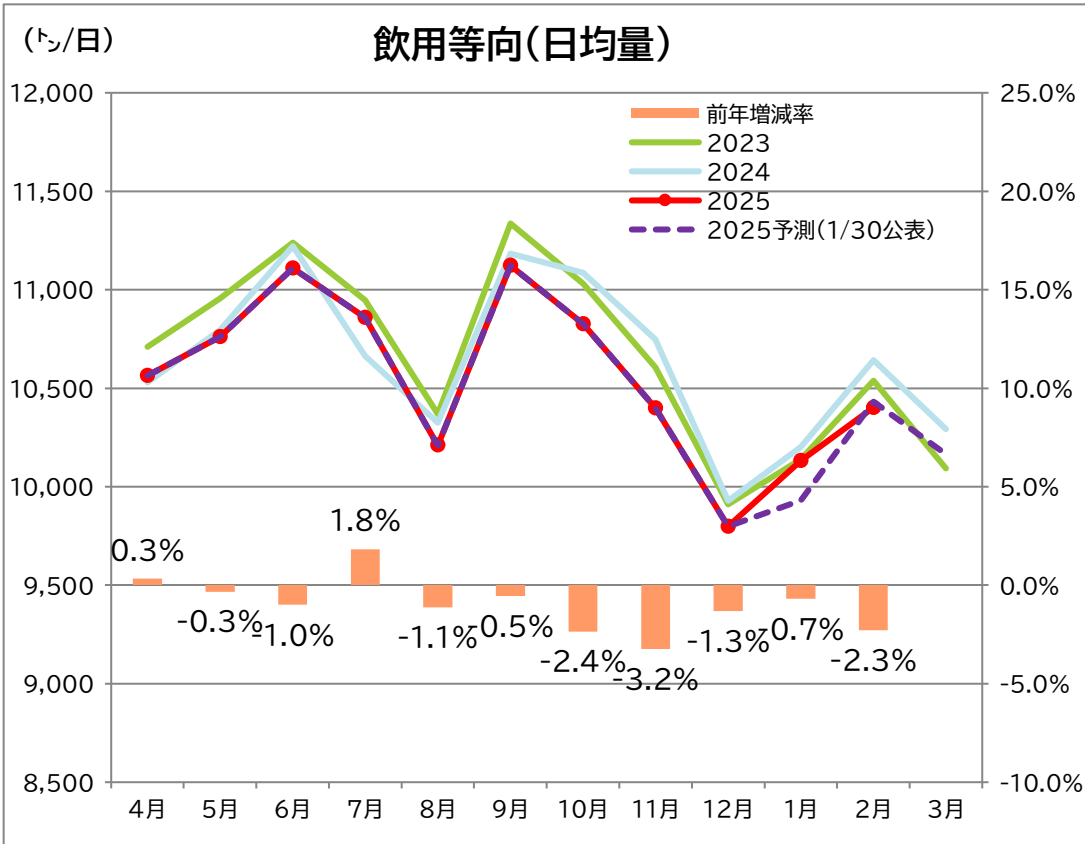
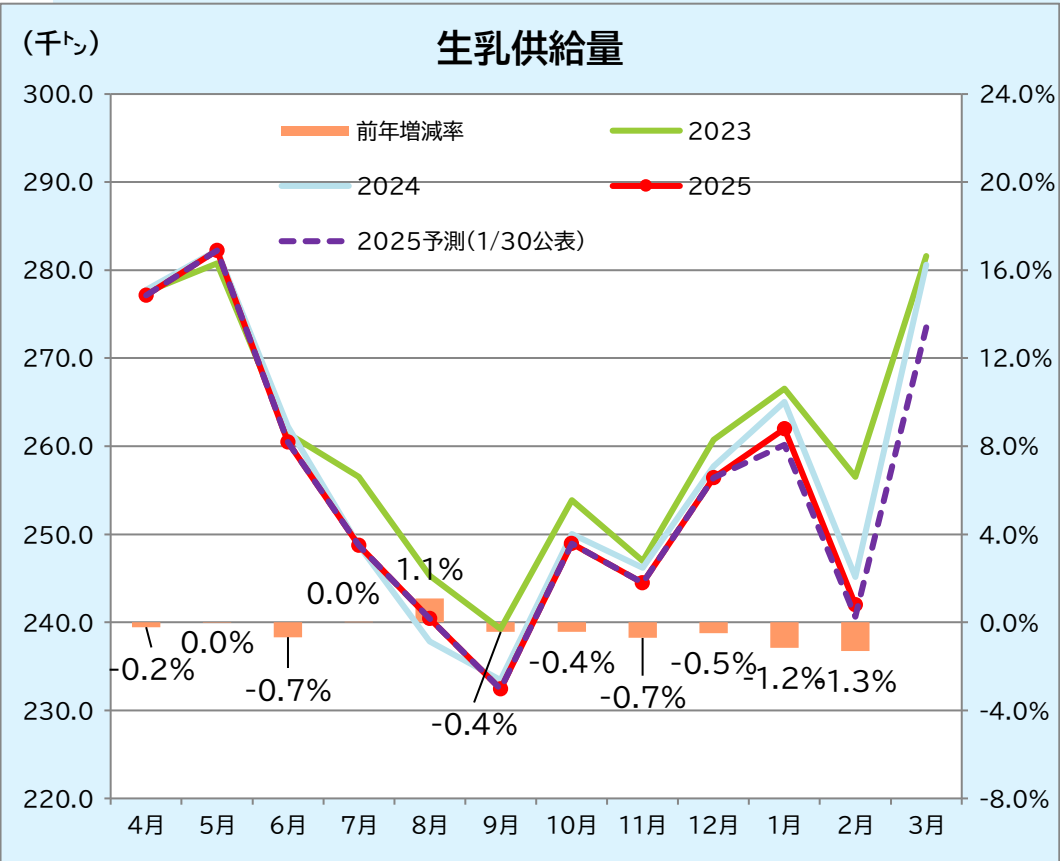
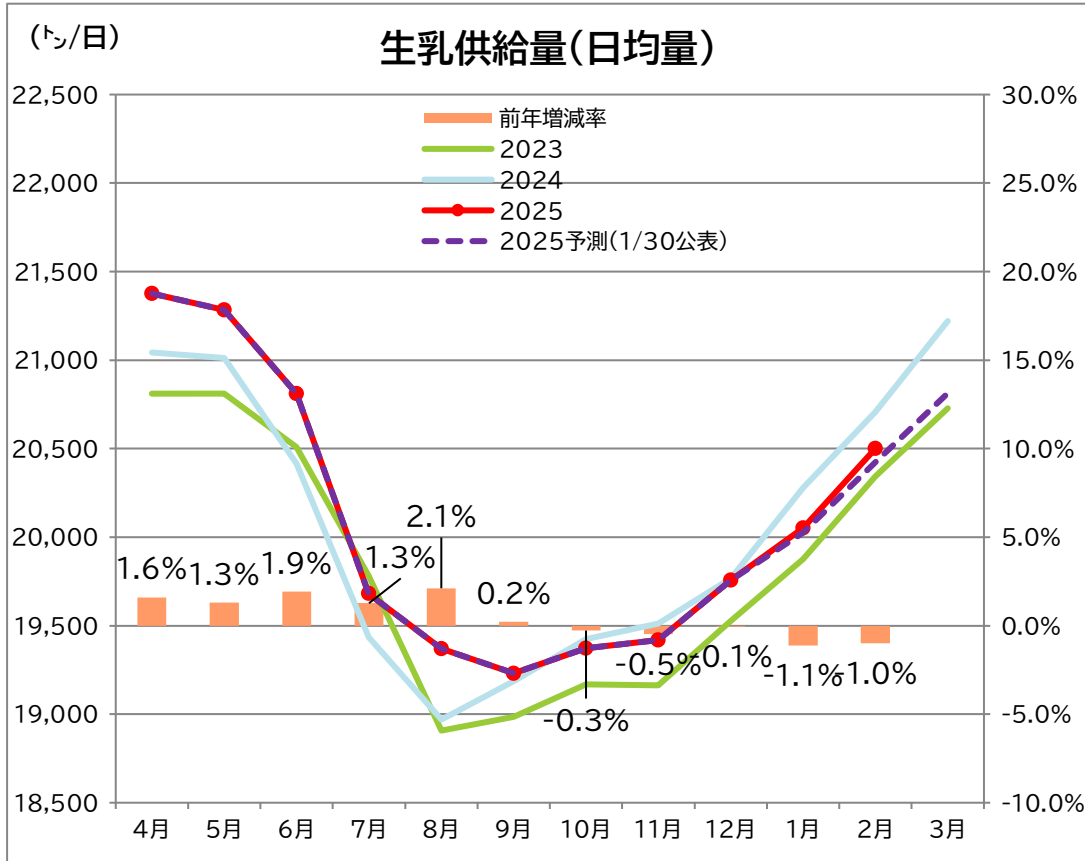


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の生乳供給量は574.0ト(前年同月比99.0%)、飲用等向291.2千ト(同97.7%)、乳製品向(認定ベース)282.8千ト(同100.4%)。
 (2)飲用等向が7か月連続で前年を下回り、生乳供給量が5か月連続で前年を下回った結果、乳製品向は2か月ぶりに前年を上回った。
 (3)1月30日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:571.8千ト)は上振れ、飲用等向(予測値:292.1千ト)は下振れ、乳製品向(予測値:279.7千ト)は上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)2月は、生乳供給量242.0千ト(前年同月比98.7%)、牛乳等向245.1千ト(同97.9%)。
 (2)北海道からの移入量については35.0千ト(同98.7%)と5か月連続で前年を下回った。
 (3)1月30日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:240.6千ト)は上振れ、牛乳等向(予測値:244.3千ト)も上振れ、移入量(予測値:35.2千ト)はやや下振れとなった。



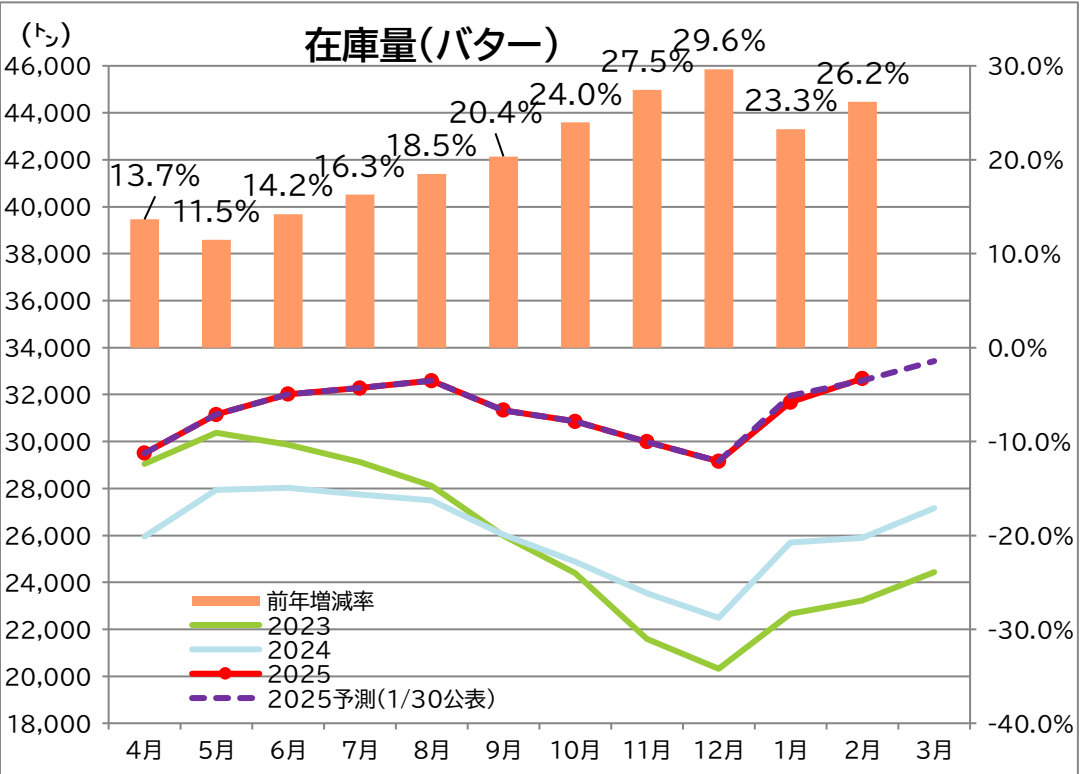
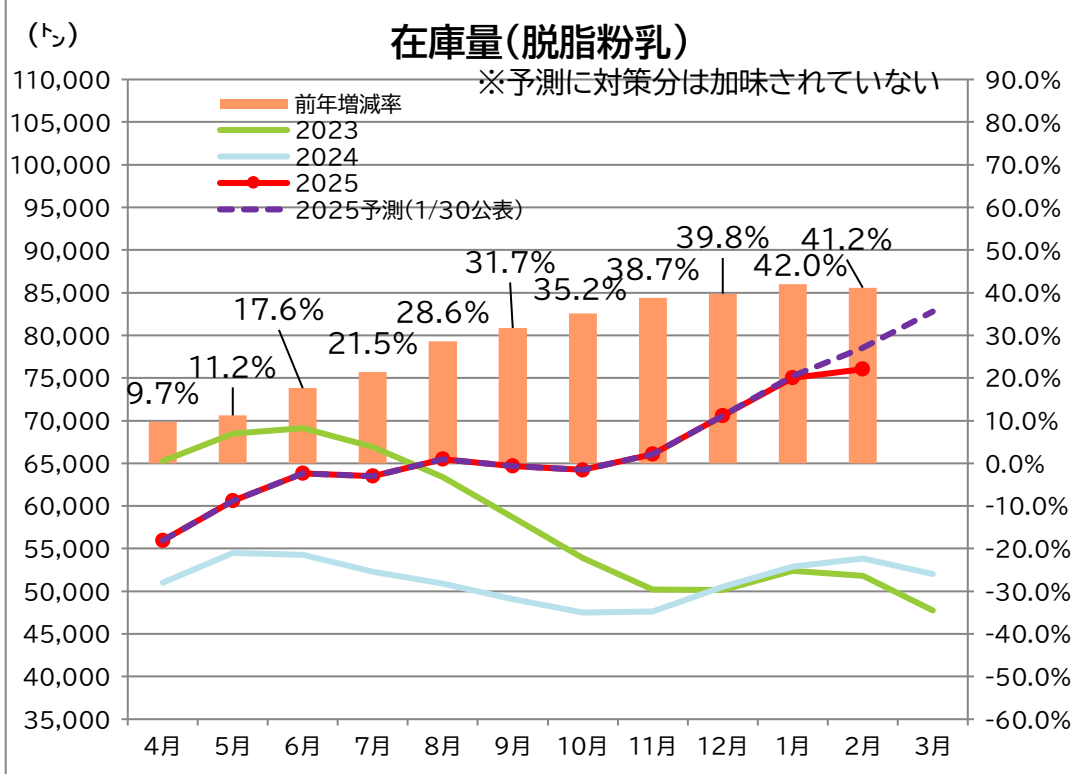
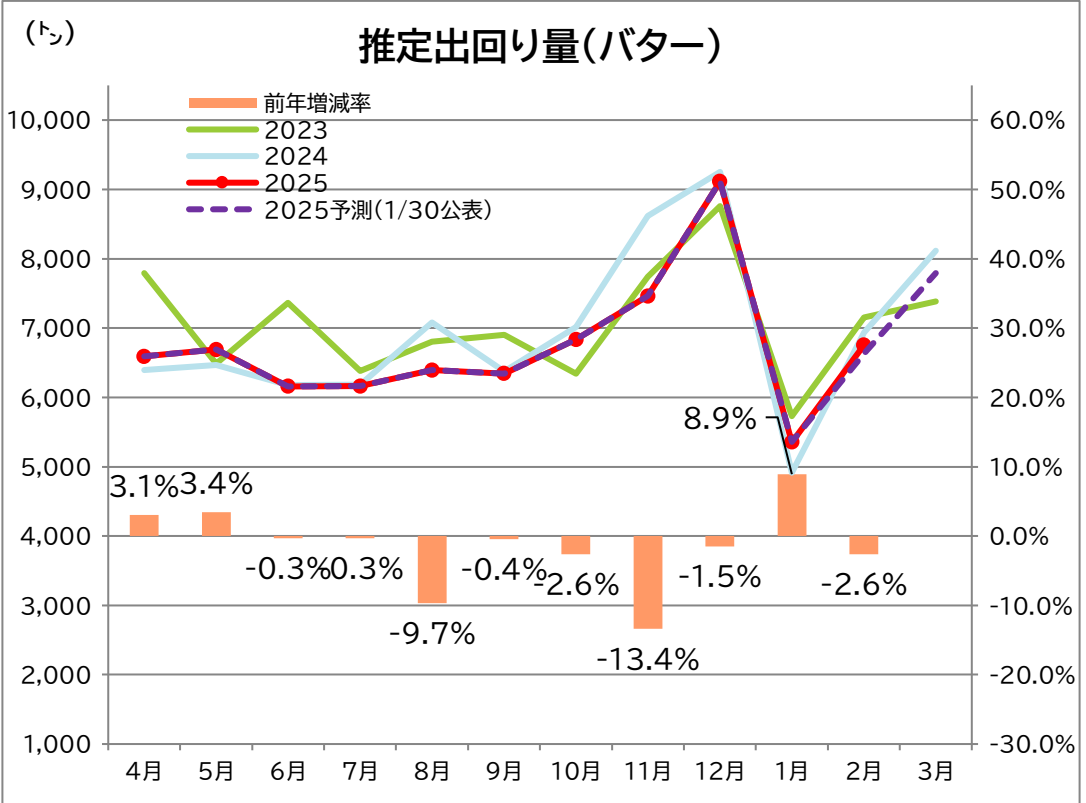
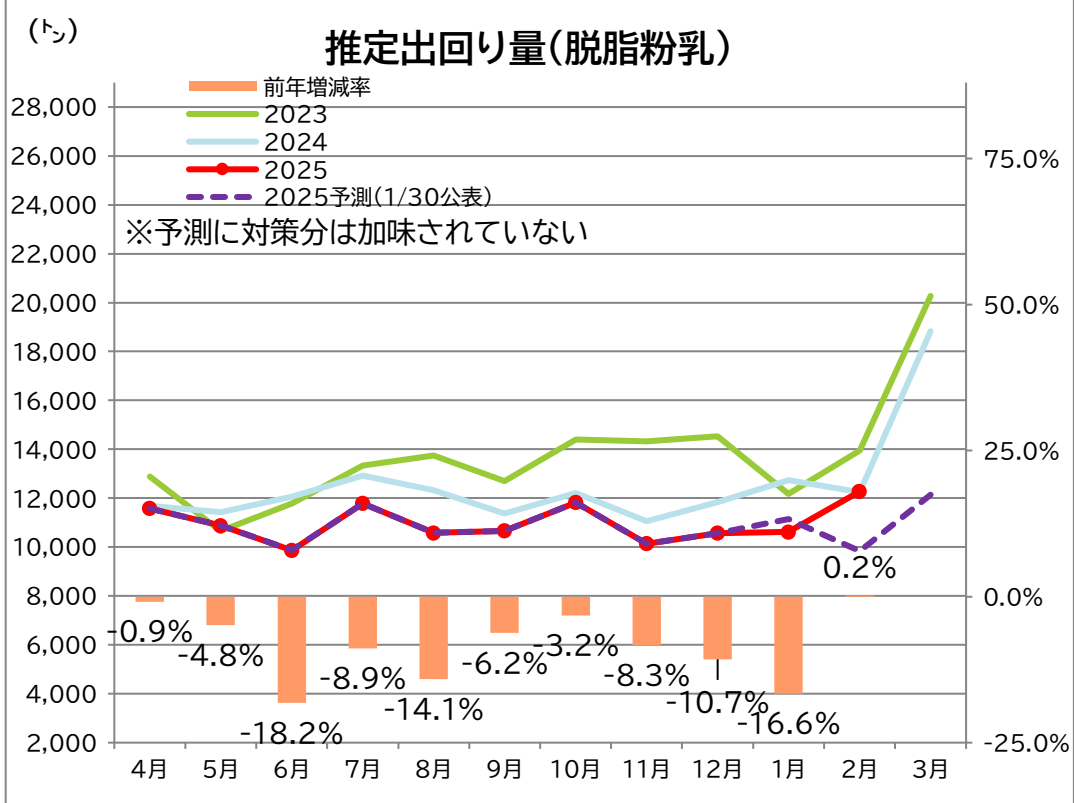
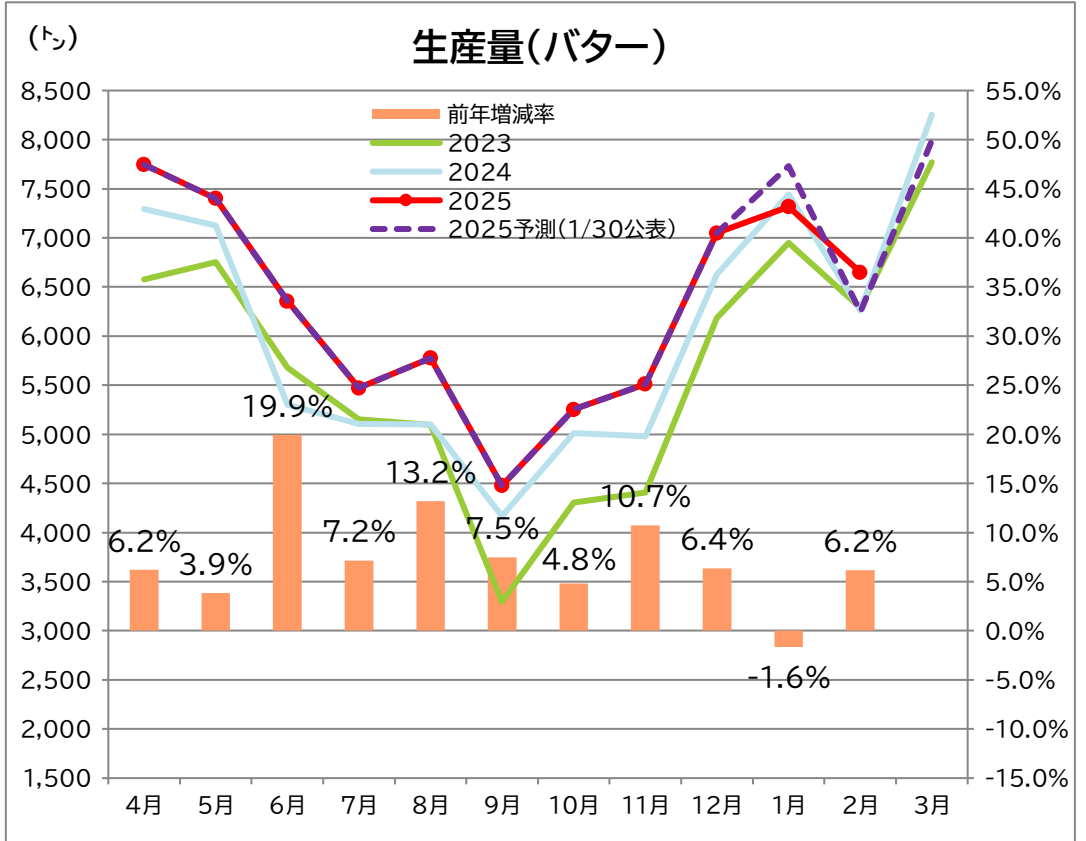
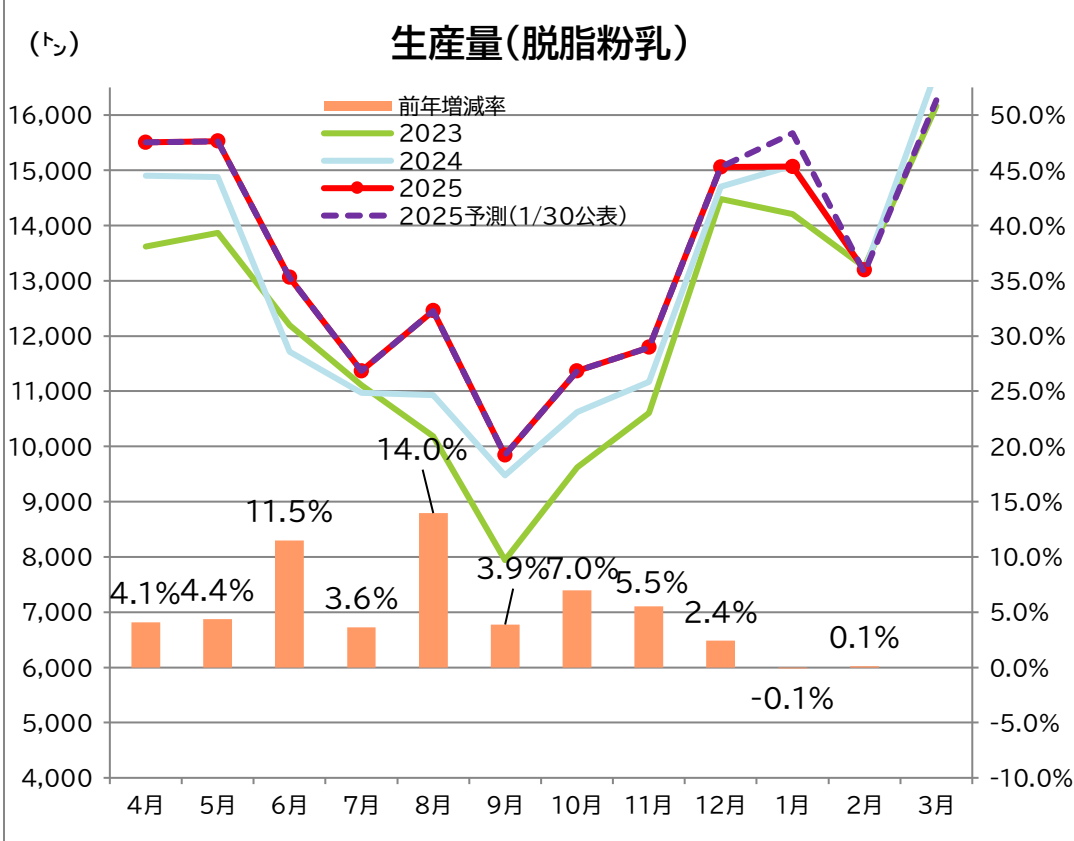
【脱脂粉乳・バター】の需給

(1)脱脂粉乳について2月の生産量は13.2千ト(前年同月100.1%)、推定出回り量は12.3千ト(同100.2%)となった。出回り量が生産量を下回り在庫量は前月から1.0千ト程度増加し、76.0千ト(同141.2%)となった。在庫量は2024年12月、約2年3カ月ぶりに前年水準を上回りそれ以降、14カ月連続で前年超えで推移しており、2025年12月には在庫量が34カ月ぶりに7万トを上回った。

※なお、推定出回り量の実績について、需給変動対策による在庫低減対策を差し引いた数量は118.3%(前年同月の数量も当時の在庫対策の数量を差し引いた実績と比較)。

(2)バターについて、2月の生産量は6.6千ト(同106.2%)、推定出回り量は6.8千ト(同97.4%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約1.1千ト)も考慮すると在庫量は前月から約1.0千ト増加し32.7千ト(同126.2%)となった。在庫量は18カ月連続で前年超え。

➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図る必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)3月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比99.6%、成分調整牛乳:同85.0%、加工乳:同90.4%、乳飲料:同93.0%。牛乳類全体:同97.6%

【参考】2024年3月比…牛乳:98.7%、成分調整牛乳:80.8%、加工乳:83.0%、乳飲料:88.4%(牛乳類トータル:95.7%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(3/30週)の販売個数は、牛乳:前年同期比101.2%、成分調整牛乳:同85.9%、加工乳:同91.1%、乳飲料:同97.0%。牛乳類トータルでは同99.5%

出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

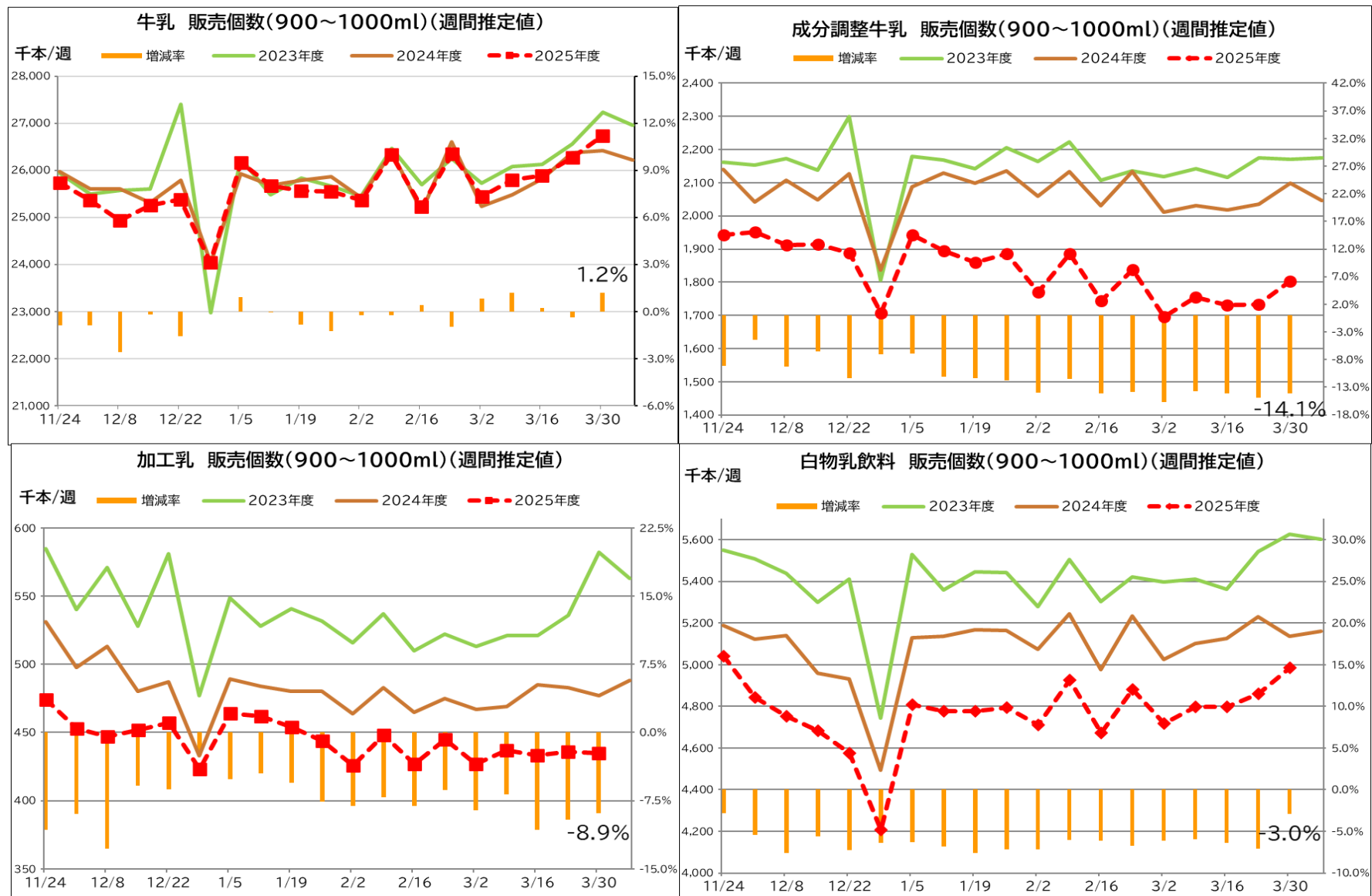
単位:千個、円

品目	区分	2025/10-	2025/11-	2025/12-	2026/1-	2026/2-	2026/3-	2026/3- 2022/10価格差	2026/3- 2023/3価格差	2026/3- 2023/7価格差	2026/3- 2025/7価格差
		販売個数	155,995	144,208	145,307	140,048	131,371	146,106			
トータル	販売個数前年比	96.8	98.0	97.0	98.3	97.8	97.6	42.1	27.0	25.2	8.9
	販売単価	226.0	225.6	226.3	226.2	225.8	225.2				
	販売個数	120,635	111,759	113,669	109,701	103,162	115,117				
牛乳	販売個数前年比	97.6	99.1	98.3	100.0	99.7	99.6	43.5	27.2	26.4	8.6
	販売単価	235.3	234.8	235.0	235.1	234.5	233.7				
	販売個数	9,035	8,527	8,590	8,035	7,252	7,718				
成分調整牛乳	販売個数前年比	89.2	92.2	91.9	90.5	86.5	85.0	44.0	28.4	24.8	11.1
	販売単価	216.9	216.2	216.1	217.2	217.1	217.2				
	販売個数	2,154	2,059	2,034	1,947	1,750	1,925				
加工乳	販売個数前年比	92.7	95.2	90.0	95.0	92.5	90.4	41.4	31.7	21.5	10.0
	販売単価	231.5	228.0	231.3	230.8	232.4	233.3				
	販売個数	24,170	21,863	21,014	20,366	19,207	21,345				
乳飲料	販売個数前年比	96.7	95.4	93.0	93.3	93.6	93.0	31.7	21.1	17.4	7.6
	販売単価	180.8	179.9	182.7	181.8	181.7	181.2				

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	2.9-	2.16-	2.23-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	26.3.30- 22.10.24 価格差	26.3.30- 23.3.20 価格差	26.3.30- 23.7.24 価格差	26.3.30- 25.7.21 価格差
		販売個数	33,585	32,061	33,507	32,279	32,780	32,843	33,294	33,957	41.9	27.0	24.6
トータル	販売個数前年比	98.0	98.4	97.3	98.6	99.1	98.2	97.6	99.5				
	販売単価	225.8	225.9	225.4	225.3	225.4	225.3	225.2	225.1				
	販売個数	26,326	25,220	26,345	25,439	25,790	25,881	26,267	26,734	43.4	27.1	25.9	8.4
牛乳	販売個数前年比	99.7	100.4	99.0	100.8	101.2	100.2	99.6	101.2				
	販売単価	234.6	234.5	234.1	233.7	234.0	233.9	233.7	233.7				
	販売個数	1,885	1,743	1,837	1,696	1,754	1,730	1,732	1,802	43.1	28.3	23.4	10.2
成分調整牛乳	販売個数前年比	88.4	85.9	86.1	84.3	86.3	85.8	85.1	85.9				
	販売単価	216.2	218.0	216.4	218.3	216.8	216.7	217.7	216.4				
	販売個数	448	427	445	427	437	433	436	435	42.9	33.5	23.6	11.3
加工乳	販売個数前年比	92.9	91.9	93.7	91.4	93.2	89.3	90.4	91.1				
	販売単価	232.6	231.3	232.7	231.9	231.8	234.4	234.2	237.1				
	販売個数	4,925	4,671	4,880	4,718	4,799	4,799	4,859	4,986	30.9	21.0	16.1	6.4
乳飲料	販売個数前年比	93.9	93.9	93.3	93.9	94.1	93.6	92.9	97.0				
	販売単価	181.7	181.4	181.5	181.6	181.5	181.1	180.9	181.4				

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

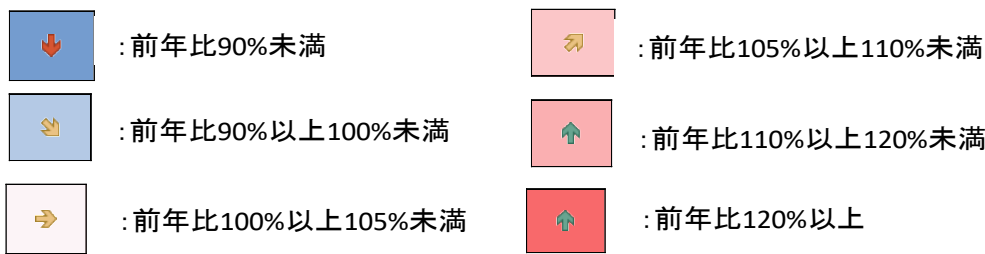
直近(3/30週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。はっ酵乳全体としては、前年を上回った。

(2)販売個数について、前週(3/23週)との比較では、3品目いずれも減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

品目	2.9-	2.16-	2.23-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	→	→	→	→	→	→



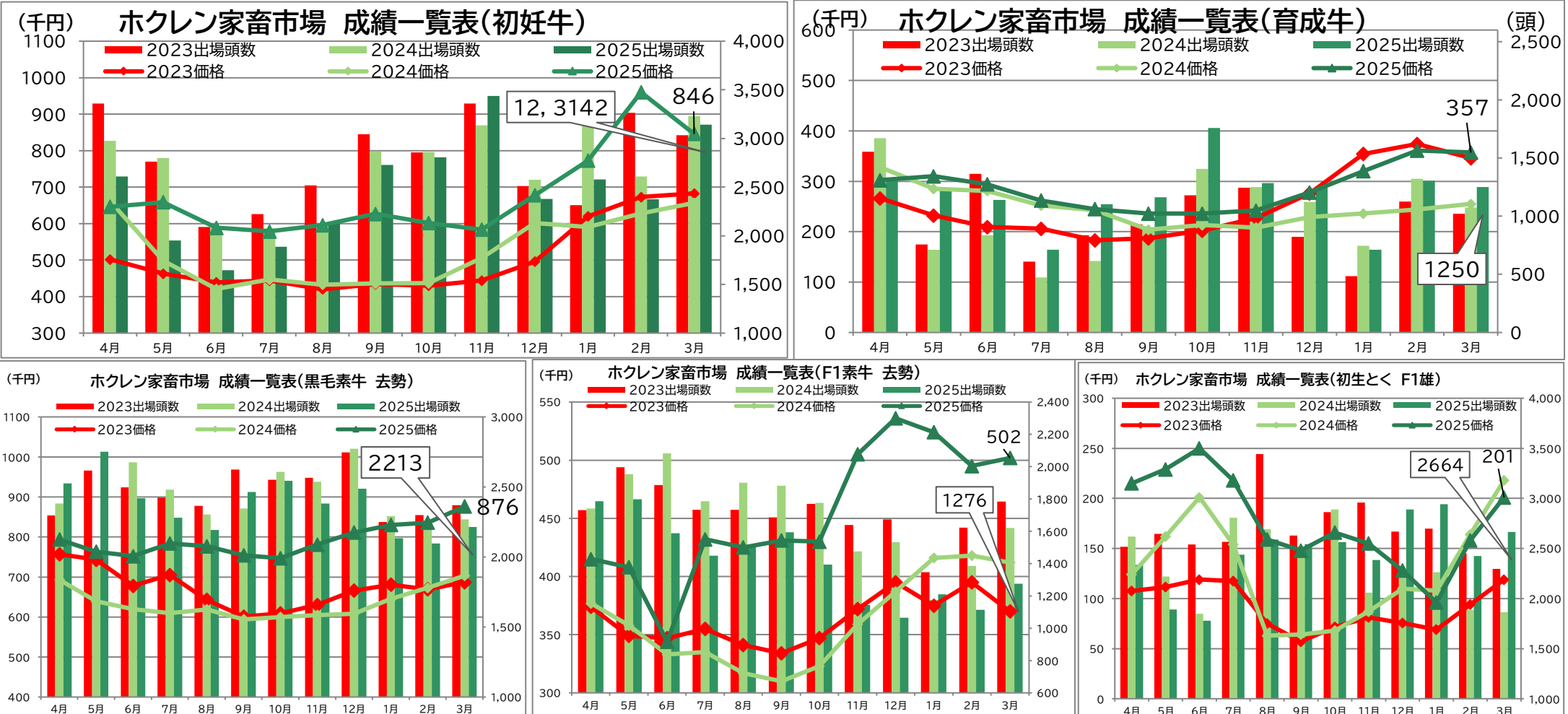
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)3月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は846千円(前年同期比128.8%)、育成牛価格は357千円(同140.0%)、和牛素牛(去勢)価格876千円(同124.6%)、F1素牛(去勢)価格は502千円(同121.8%)。初妊牛は2カ月振りに90万円を下回り、育成牛は3カ月連続で30万円台に上昇した。ホル初生(雄)価格は111千円(同180.0%)と、9か月ぶりに100千円を上回った(グラフ無し)。

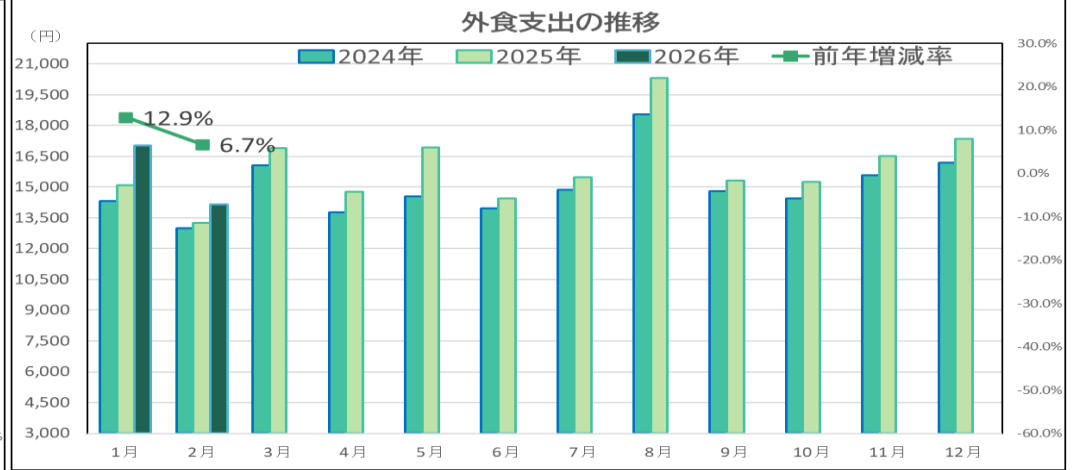
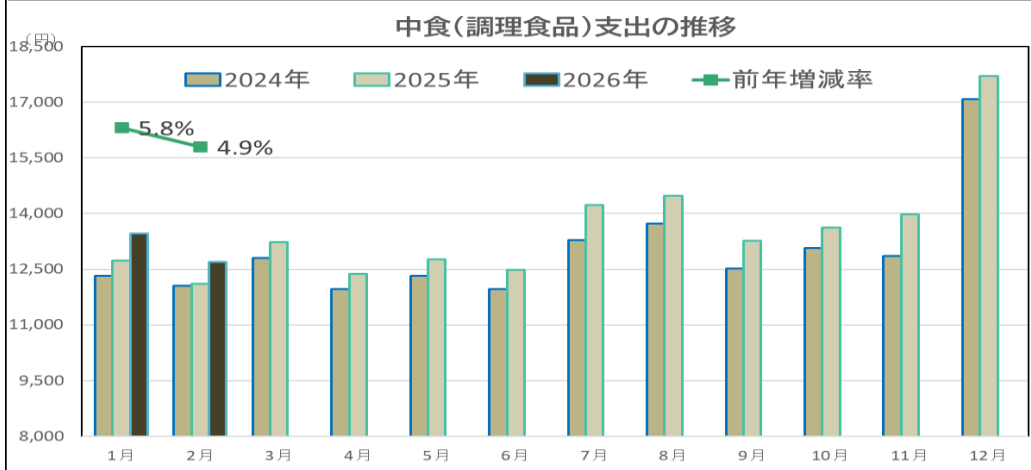
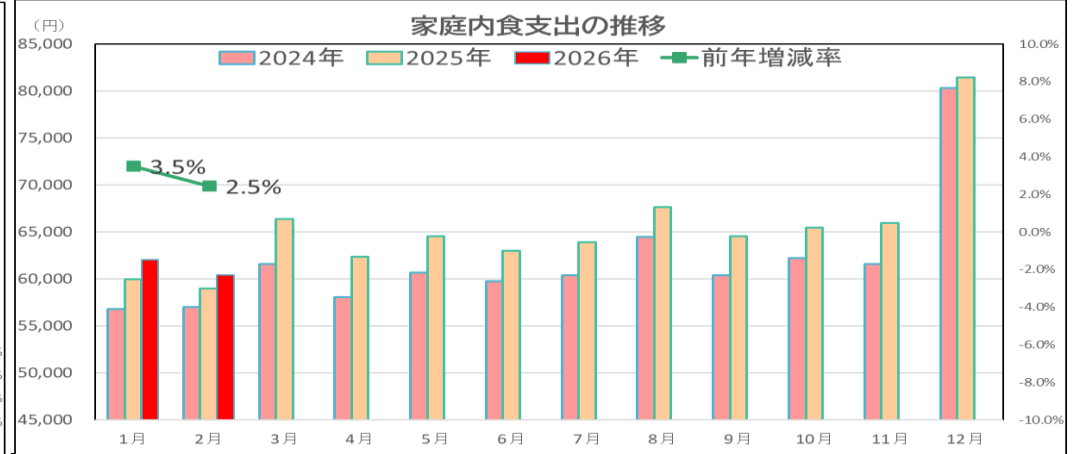
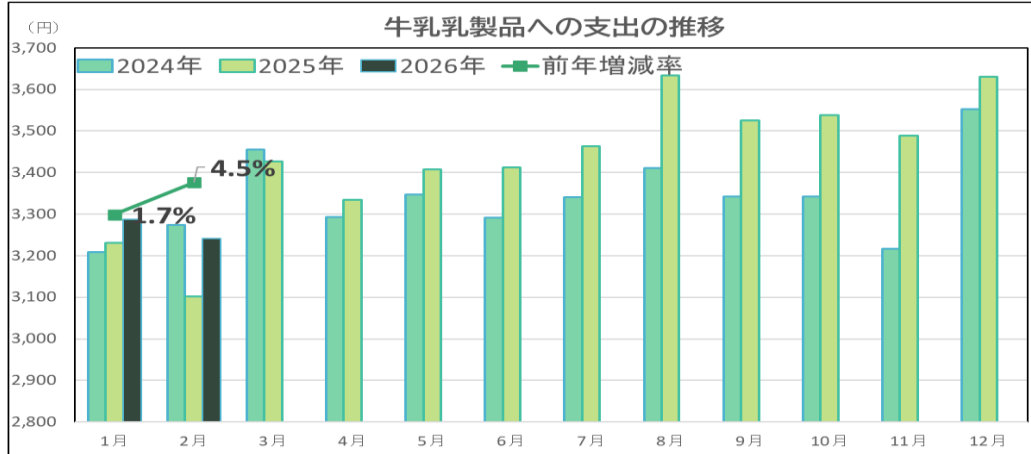
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.3%、育成牛:同116.4%、F1初生(雄):同143.0%、和牛素牛(去勢):同97.6%、F1素牛(去勢):同78.8%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

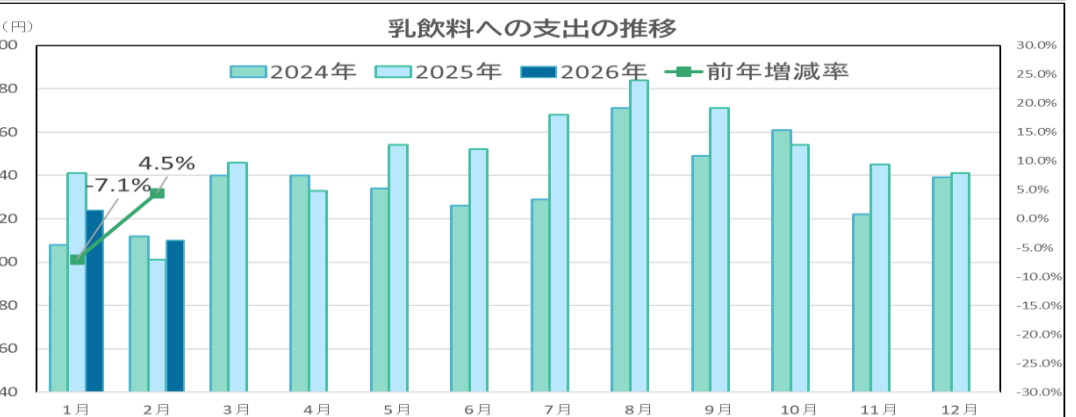
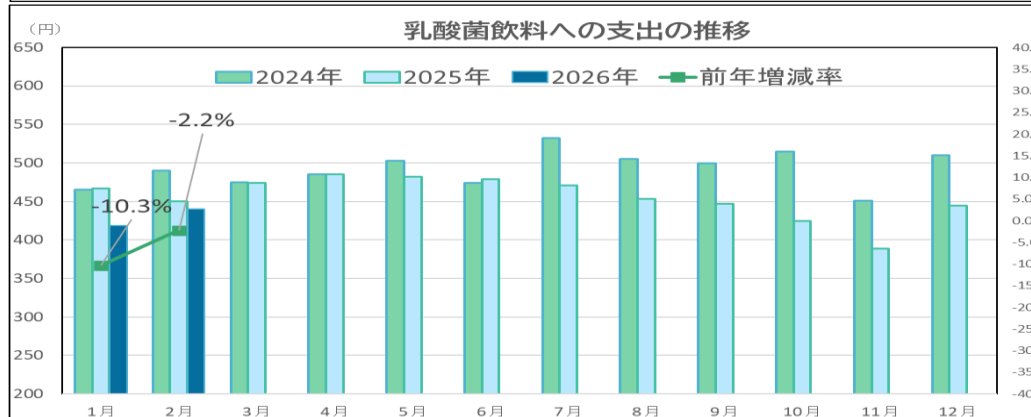
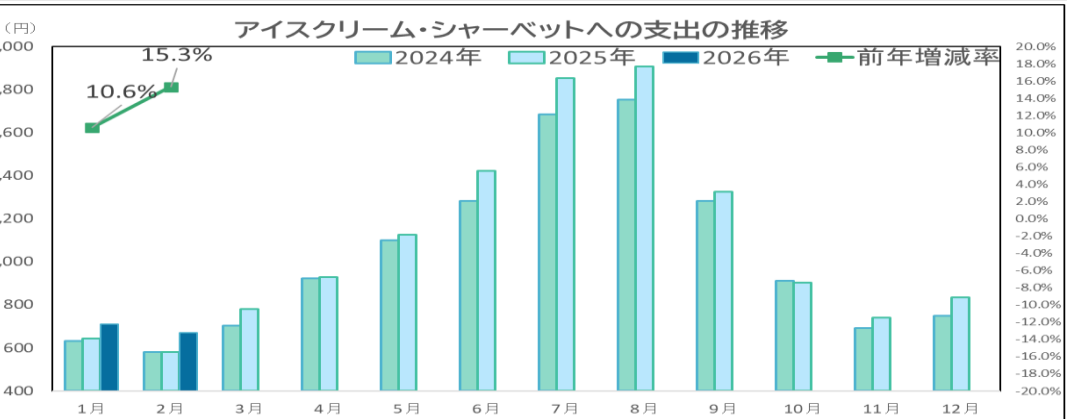
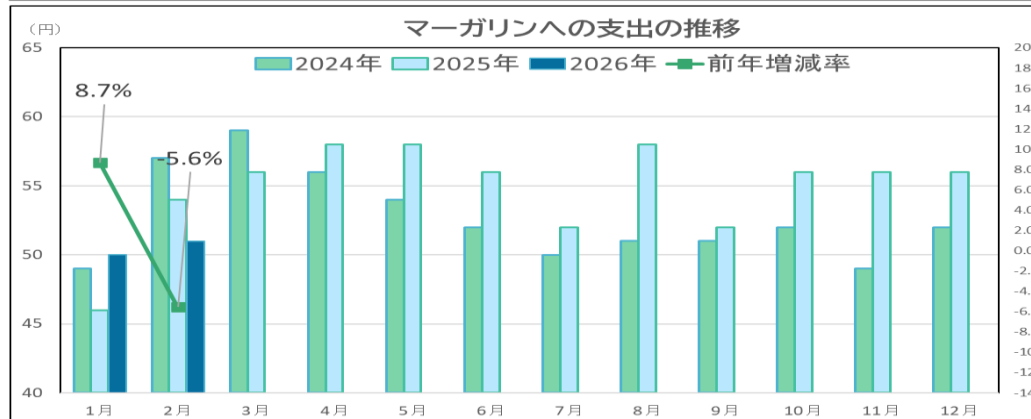
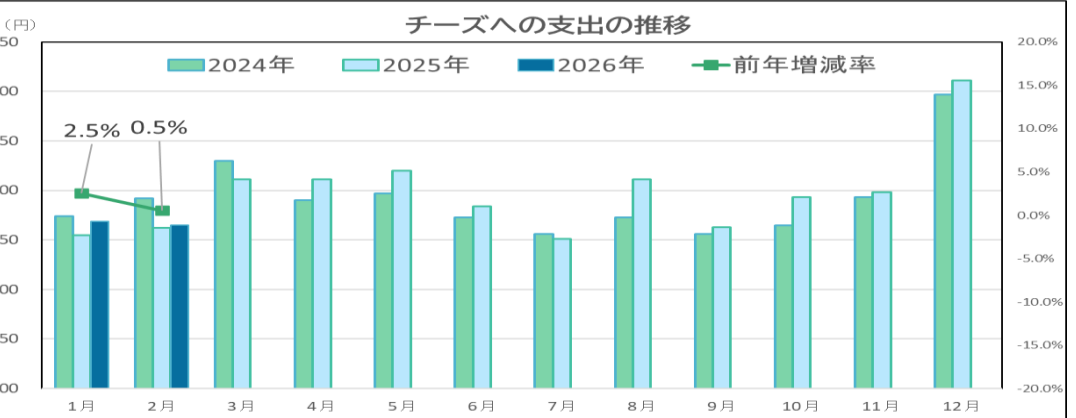
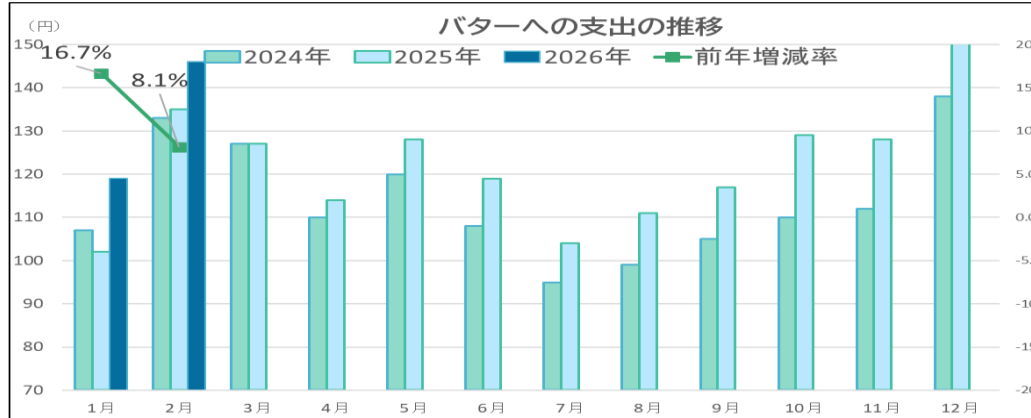
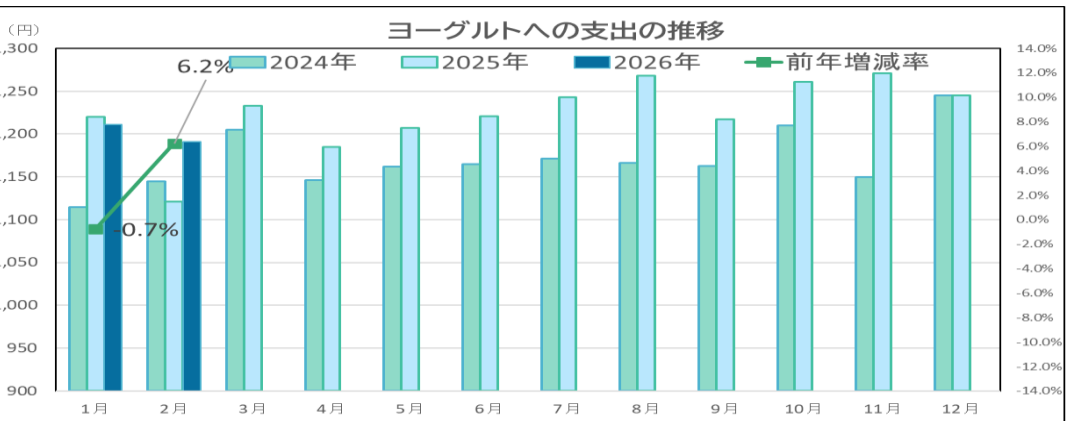
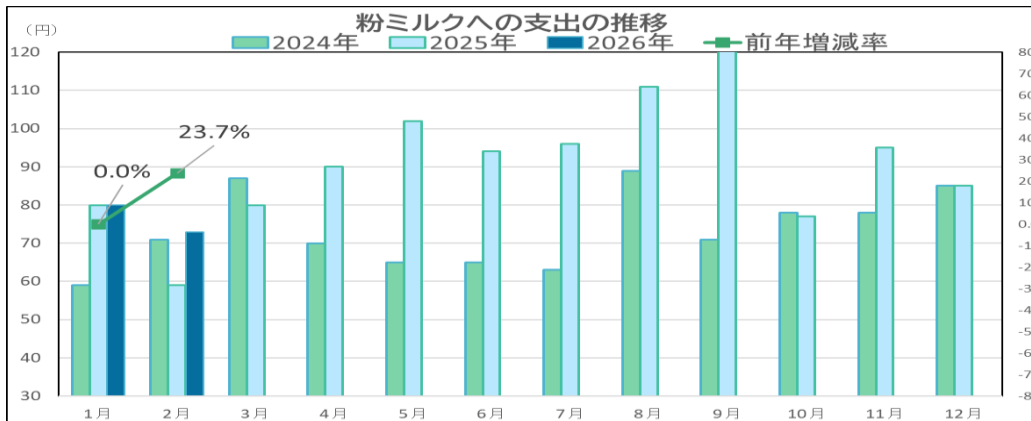


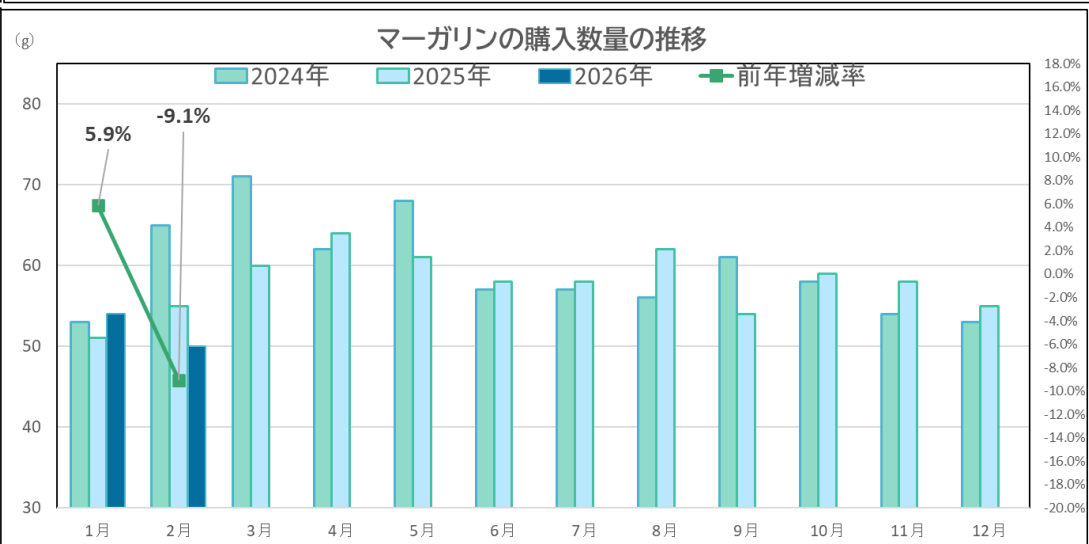
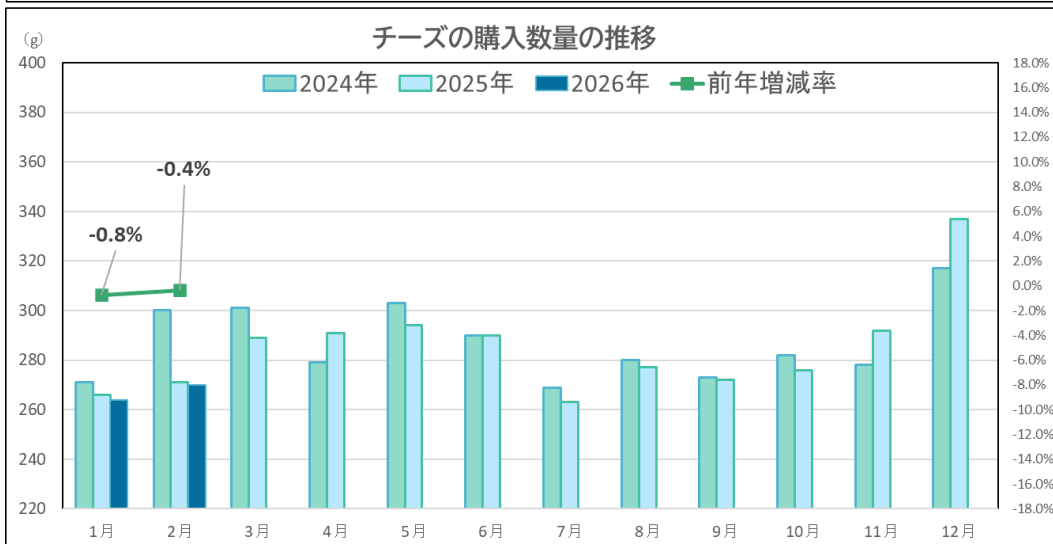
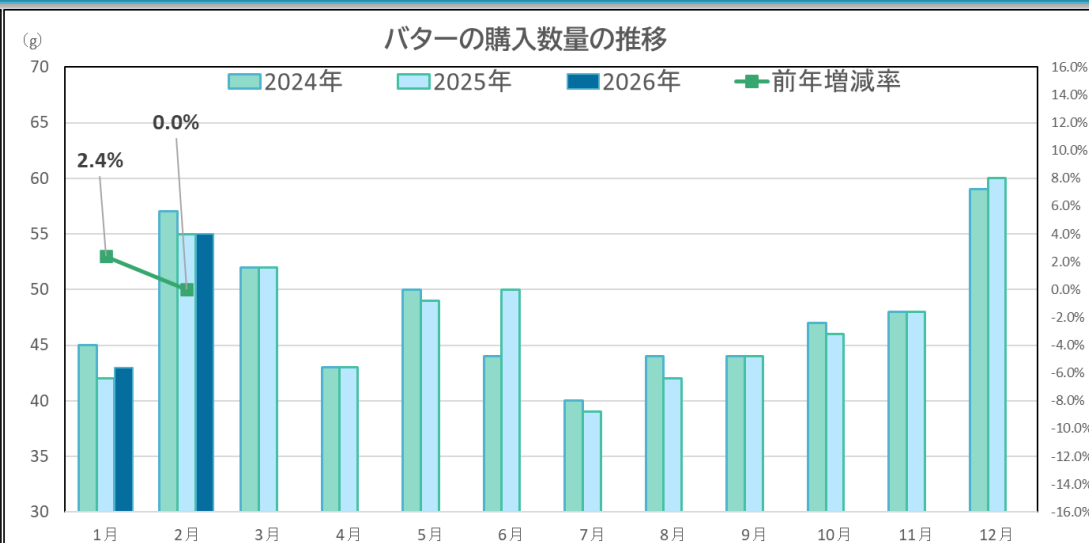
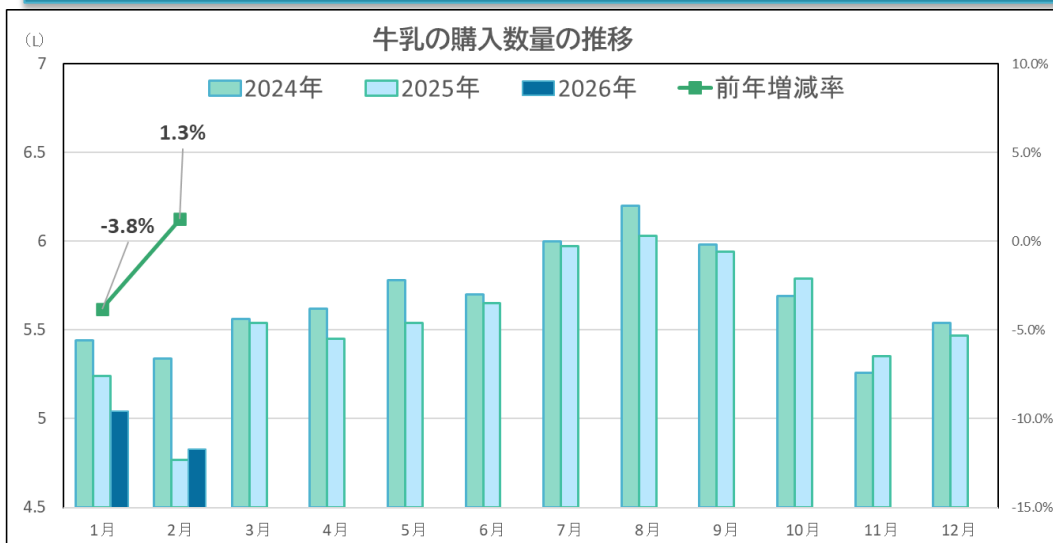
【家計支出の動向】

- (1) 2月の支出額前年比について、外食106.7%、中食104.9%、内食102.5%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は103.5%となった。
 - (2) 牛乳乳製品の支出額も前年比104.5%(うち牛乳103.9%、乳製品104.8%)と10カ月連続で前年を上回った。
 - (3) なお、購入量は、牛乳101.3%(1世帯当たり4.8㍓)と3か月ぶりに前年超え。バターは4カ月連続で前年超え、チーズは2カ月連続で前年割れとなった。
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)

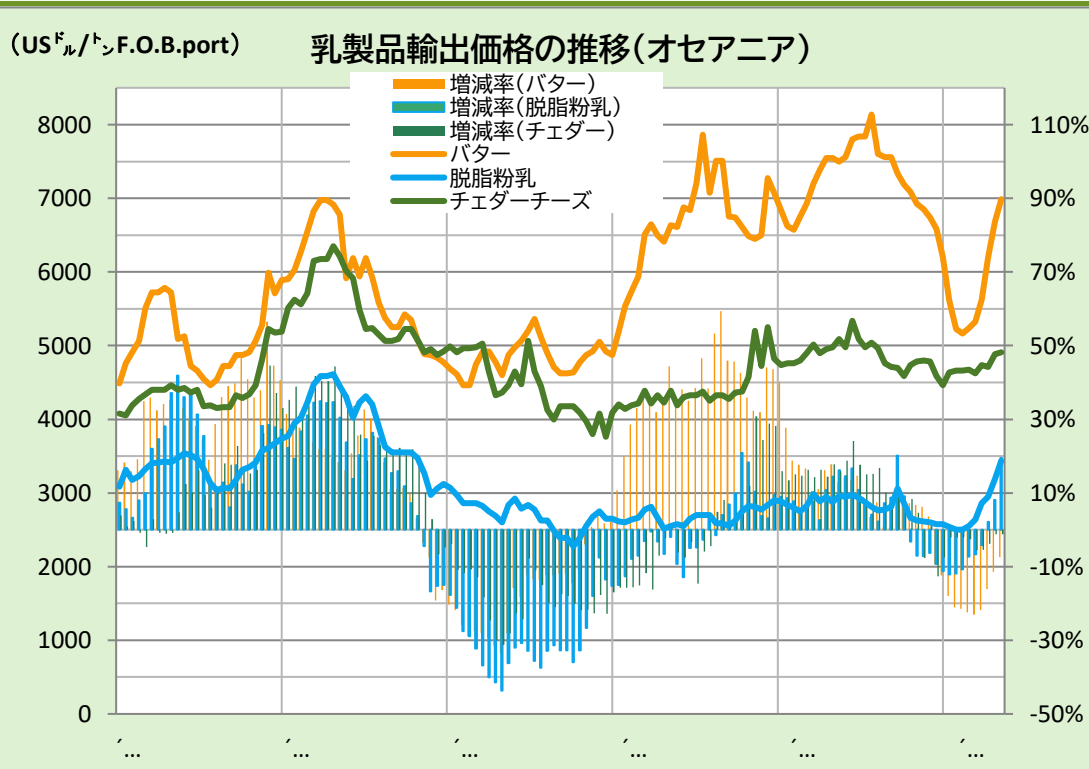
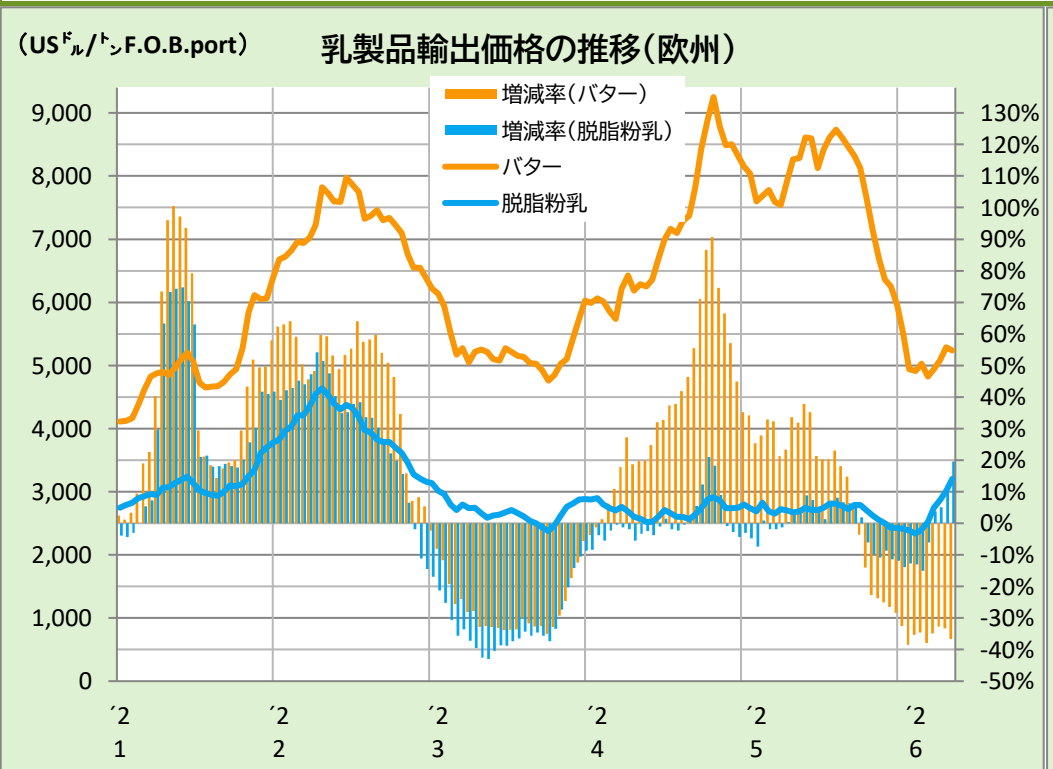


【参考:その他品目支出の動向】





【乳製品輸出価格の動向】
 (1)直近の乳製品国際相場について(3月下旬)
 ・欧州:脱脂粉乳3,200ドル/ト、バター5,238ドル/ト中心。
 ・オセアニア:脱脂粉乳3,438ドル/ト、バター6,988ドル/ト、チェダーチーズは4,913ドル/ト中心
 ※出典:米国農務省(USDA)



※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」